

## 小作争議と小作調停(3)群馬県山田郡毛里田 村の事例

KAWAGUCHI, Yoshihiko / 川口, 由彦

---

(出版者 / Publisher)

法学志林協会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法学志林 / Review of law and political sciences

(巻 / Volume)

112

(号 / Number)

1

(開始ページ / Start Page)

121

(終了ページ / End Page)

169

(発行年 / Year)

2014-09-19

資料

小作争議と小作調停(三)

—群馬県山田郡毛里田村の事例—

川口 由彦

前回(二)(「法学志林」第一〇九巻第四号)につづき、「毛里田村小作料査定争議ト組合運動ノ実情」の後半部分を翻刻する。本資料は、既述のように、「第一」から「第九」まで九章編成となっており、本号では「第三」から「第九」までを掲載する。本号によって右記「実情」の翻刻は終了する。  
本資料の目次は、前回掲載したが、本号でも再録する。

凡例

- ・旧字体等は原則として、新字体に改めた。
- ・誤植はそのままとした。

目次

- 第一 小作争議ノ沿革
- 第二 小作人ノ団体運動

小作争議と小作調停(三)(川口)

一 組合ノ設立

二 組合ノ組織

三 組合設立当初ノ争議

(一) 不作ヲ理由トスル一時的減額要求

(二) 永久減額要求

四 小作料査定要求問題

(一) 小作料査定ノ要求原因

(二) 小作料査定問題発生ノ端緒タル争議

(三) 第一回査定要求

(四) 第二回査定要求

(五) 査定要求ニ対スル村農会協議会

(六) 査定ノ状況

(七) 従来ノ小作料ト査定小作料トノ対比

五 消費組合

(一) 設立ノ動機

(二) 組合定款

(三) 事案

(四) 経費

六 小作組合村営並消費組合補助問題

(一) 小作組合村営問題

(二) 消費組合補助問題

(三) 村会ニ関聯セル協議会ノ状況

(四) 終局ノ概要

七 夏期農民大学

八 高等農民学校設立計画

九 日本小作人総同盟組織 (以上、第一〇九卷第四号)

第三 査定小作料実行要求争議 (以降、本号)

一 大正十四、十五年争議

(一) 東今泉争議

(二) 矢田堀争議

(三) 只上争議

(四) 調停条項

(五) 調停条項ニ依ル立毛ノ檢見

(六) 東今泉及富若争議

二 昭和三年争議

(一) 富若争議

(二) 富若小作人間ノ争議

第四 地主恩田某一関スル争議

一 大正十四年争議

二 昭和二年争議

第五 諸争議

一 大正十四年争議

二 大正十五年争議

(一) 古水争議

(二) 丸山争議

(三) 只上争議

(四) 東今泉争議

三 昭和二年争議

(一) 東今泉ノ小作組合員ト脱退派トノ争議

(二) 水路敷地借地料争議

四 昭和三年争議

(一) 丸山争議

(二) 吉沢争議

第六 立毛檢見ノ実行

第七 協調団体

一 農事組合設立

二 農事組合状況

第八 村勢概況

第九 小作調停及訴訟事件調査

一 小作調停申立趣旨別事件調査

二 小作調停事件年別調査

三 法外ノ小作調停事件年別調査

四 小作争議ニ関スル民事訴訟事件調査

第三 査定小作料実行要求争議

大正十二年小作者ハ小作料査定ヲ同村農会ニ迫リ同十三年十一月村農会ハ協議会ヲ開キテ之レヲ実行スルコトニ決シ大正十四

年九月完了シテ之レカ発表ヲ為シタルハ前記ノ如クナルカ地主側ハ小作者側ガ其ノ勢力ノ下ニ査定ヲ実行シ又査定着手ニ際シテハ地主側ト意見ヲ異ニシ地主側委員中辞職シタルモノ或ハ欠席シタルモノ等多キニ係ラス之レヲ顧ミズシテ小作者者多数ヲ以テ圧倒的ニ総テヲ決定シタルモノナリトテ之レヲ快シトセス其ノ実施ニ対シ反対スルニ至レリ依リテ小作者者四百三十四名ハ地主百一名ニ対シ再ビ査定小作料実行要求ノ争議ニ出デ大正十四年十一月及十二月ノ二回小作料組合大会ヲ開催シ査定小作料承認要求ノ決議ヲ為シ該査定小作料ヲ承認セザル地主ニ対シテハ査定額以内ヲ納付シ其ノ差額ハ未納ト為シ置クコトヲ申合セ小作料組合各支部ハ大字毎ニ協議会ヲ開催シテ其ノ徹底ヲ期スコトトセリ。

之レニ対シ地主側ハ大正十四年十一月下旬新田郡太田町ニ会合シ小作者側ノ主張ハ絶対ニ承認セザルコトヲ申合セタリ而シテ県小作官ハ其ノ間ノ事情ニ付常ニ注視中ニシテ調停ヲ開始セントシ調停案ニ付山田郡長ニ協議中ナリシガ元来地主ノ大部分ハ村農会査定小作料ナルモノガ小作者側ノ威力ニ依リ実施セラレントセシヲ以テ感情ニ走り其ノ内容ヲ調査セズ一概ニ反意ヲ表シタルモノ等アリテ後實際ニ付査定小作料額ヲ調査スルニ及ビテ之ヲ承認セムトスル者ヲ生ジ来リ点々査定ニ準ジテ解決スルモノアリシガ其ノ主張強硬ナル地主ニ依リ左ノ如ク区々ニ分レテ争議ノ發生ヲ見ルニ至レリ。

## 一 大正十四、十五年争議

### (一) 東今泉争議

#### 争議ノ原因

争議ノ原因ハ前記ノ如ク査定小作料実行要求問題ニシテ大正十四年十一月二十六日小作人富岡某外十二名ハ大字矢田堀地主山口某外十一名ニ対シ其ノ小作地毛里田村大字東今泉字鹿島所在田三町二十九歩ニ付キ永久小作料減額ヲ主張シ大正十三年及十四年ハ旱魃被害大ニシテ小作料ノ支払ニ窮シタルニ幸大正十四年度ハ村農会ノ査定小作料公表セラレタルヲ以テ之レカ実行ヲ要求スルモノナリト地主ニ交渉セシニ地主ハ従前ノ不足米ヲ要求シ併セテ土地返還ヲ請求セルニ依リ争議トナリ。

#### 争議ノ経過

小作人ハ小作料ヲ納入セズ団体又ハ個人交渉ヲ以テ専ラ査定小作料実行ヲ迫ルノミナリシガ地主大字矢田堀長島某外七名ハ小作人大字丸山、野口某外二名、大字東今泉田中某外二名、大字大田村岡某、大字古水深田某ヲ被告トシ又地主大字丸山、川田某ハ小作人タル大字吉澤、小林某外一名、大字古氷小林某、大字太田小林某ヲ各被告人トシテ大正十五年四月十九日土地返還並小作料納入請求ノ民事訴訟ヲ前橋地方裁判所ニ提起セリ依リテ小作人側ハ五月七日調停ノ申立ヲ為スニ至レリ。

(一) 矢田堀争議  
争議ノ原因

毛里田村大字矢田堀地主、大島某ハ大正六年三月小作人大字丸山森田某、大字古氷小林某ニ、同年五月、大字古氷小林某ニ対シ各小作契約ヲ為シ大字矢田堀所在田三反四畝歩ヲ貸付ケタルニ大正十一年附近一般小作料軽減運動起リタル為メ何レモ永久ニ割ヲ減額シ、大正十二年及十年三八小林某外一名ハ小作料ヲ完納セシモ森田某ハ二ヶ年共完納セズ大正十四年ハ前記小作者ハ村農會ノ査定ニ依ルモノナリト稱シ契約小作料ヲ割引シテ支払ヒタリ然ルニ地主ハ大正十五年一月二十日其ノ不足小作料ヲ請求スルト共ニ小作証書ニハ期間ノ定メナキモ地主ニ於テ家族増加シ自作ヲ要スル場合ハ返還ヲ為スヘキ契約ナリト稱シ現在地主ハ大正十二年ノ大震災ニ依リ東京ヨリ帰農セルモノアリテ家族増加シ全ク自作ノ必要ニ迫マラレツツアルヲ以テ土地返還ノ要求ヲ為シタルモ小作者ハ不足米ノ納入ヲ為サズ又小作地乏シキヲ以テ之レヲ返還スルニ於テハ他ニ相当ノ小作地ヲ求ムルコト困難ナリト主張シ争議ト為リシモノナリ。

## 争議ノ経過

地主ハ不足米ノ支払ニ付前後四、五回ニ亘リ催告ヲ為シ大正十五年ヨリハ自作セムトシテ土地返還ノ要求ヲ為シ苗代準備ヲ整ヘタリ。

而シテ小作者三名ハ毛里田村小作組員ナルヲ以テ同組合幹部之レヲ援助シ地主又他ノ小作争議ニ関係アル矢田堀地主ト連絡

ヲ採リ之レト対立シタルモ小作者ハ組合幹部ノ指導ヲ受ケ解決益々困難ニ陥リタル為メ地主ハ小作調停法ニ依リ調停ノ申立ヲ為シタリ。

## (二) 只上ノ争議

## 争議ノ原因

毛里田村大字只上地主久保田某ハ大正十二年十二月同村鈴木某ヨリ大字只上字矢田堀下七百二十六番田二反六歩ノ土地ヲ買受ケタルニ同村大字東今泉小作者タル淵川某ハ鈴木某ヨリ該土地ヲ貸受ケ小作ヲ為シ居リタルヲ以テ地主ハ小作者ト協議ノ上別ニ年期ヲ定メズ小作料七俵八斗ニテ引續キ小作セシメタリ。

然ルニ大正十三年、同十四年ニハ小作者ハ不作ト稱シ契約小作料ノ未納ヲ為シ居リタリ而シテ大正十五年ニハ査定小作料六俵一斗ヲ納入シ他ハ減額ヲ要求セルモ地主ハ之レニ応セズ該土地ヲ引上ゲ自作セムトシ之レガ交渉ヲナシタルニ小作者ハ承諾セズ争議ト為レリ。

## 争議ノ経過

大正十五年三月十九日地主ハ内容証明郵便ヲ以テ未納小作料ノ催告ヲ為スト共ニ大正十五年度ヨリ土地返還ノ通知ヲ為セリ之レニ対シ小作者ハ前地主鈴木某トノ小作契約ニ於テ其ノ期限ハ大正十六年彼岸迄トナリ居レリトテ之レニ応セザリシヲ以テ地主久保田某ヨリ小作調停法ニ依リ調停ノ申立ヲ為セリ以上(一)(二)(三)ノ三件ハ之レヲ合併シテ新田区裁判所及前橋

地方裁判所ニ調停委員会ヲ開クコト前後三回遂ニ大正十五年六月十三日左記条項ヲ以テ調停成立セリ。

(四) 調停条項

- 一、地主、山口延次郎、長嶋勝次郎、山口廣吉、長嶋久太郎、恩田彦市、恩田儀平、山口源一郎、岡田嘉重、鈴木悦三、長嶋熊治、久保田角太郎、大嶋喜平治ハ格別ニ小作(賃借)人富岡次平、森田實作、小林松之助、村岡力三、野口惣次郎、富岡彌太郎、田中仙太郎、野口高司、平野芳三郎、深田宣堯、瀧川久五郎、森田馬七、小林長造ニ対シ從來ノ小作(土地賃貸)契約ヲ別表、甲ノ如ク契約ヲ改ム。
  - 一、各地主カ賃貸ノ土地ヲ他ニ売渡サントスルトキハ小作(賃借)人ノ同意ヲ經ル事ヲ要ス。
  - 一、各小作(賃借)人ハ別表乙ノ通り大正十三年度、大正十四年度ノ賃借料(小作料)未納米ヲ同表ノ期限迄ニ其地主ニ対シ支払フヘキモノトス。
  - 一、各小作(賃借)人ハ各地主ニ対シ如何ナル事由ヲ問ハス其ノ同意ヲ得ル事態スシテ小作料ノ減額又ハ免除ヲ主張セントスルニハ左ノ手続ヲ經ル事ヲ要ス。
- 各小作人ハ毎年十月中ニ県小作官ヘ小作料ノ減額又ハ免除ヲ申出ラ本件調停委員タリシ者ノ評議決定ヲ請求シ県小作官ハ直チニ右委員ヲ招集シ其評決ヲ為サシム。
- 右ノ委員ハ検見ヲ必要ナリト認メタル時ハ之ヲ遂ケ減額又

小作爭議と小作調停(三)(川口)

- ハ免除ノ事由ノ有無若シ減額ノ事由アリトセバ其額ヲ定ムル為メ評議ヲ為シ決定ス。
- 調停委員タリシ者止ムヲ得ザル事故アリテ評決ニ加ハル事態ザル場合県小作官ニ於テ其補充者ノ必要アリト認メタル時ハ之カ選任ヲ県小作官ニ委託ス。
- 各地主小作人ハ右委員ノ評決ニ服従ス。
- 右手続ノ費用ハ其申立ヲ為ス者ニ於テ之ヲ予納シ其負担者ニ付テハ右委員ニ於テ之ヲ決定ス。
- 一、各小作人ハ毎年十月中県小作官ニ申出デ委員ノ評決ヲ經ルニ非サレバ約定小作料ヲ支払フ義務ヲ負フ。
  - 一、各小作人ハ賃借期間終了後賃貸人(地主)ニ於テ家庭ノ事情上真ニ自作ヲ為スコトヲ必要トスル時ハ其賃借地ヲ賃貸人ニ返還シ然ラザル場合ニハ賃貸人ニ於テ引続キ本件賃貸人(小作人)ニ賃貸スベキコトヲ約ス但シ真ニ賃貸人ニ於テ自作ヲ為スコトヲ要スベキモノナルヤ否ヤノ点ニ争ヲ生シ又ハ引続キ賃貸借ノ契約ヲ為スベキ場合ニ其期間等ニ付キ協議調ハザル時ハ其ノ決定ハ当事者ノ一方ヨリ賃貸借期間滿了前予メ県小作官ニ申出テ県小作官ハ本件調停委員タリシ者ヲ招集シ其ノ調査決定ヲ為サシム。
- 右決定ニ対シ当事者ハ服従ノ義務ヲ負フ。
- 一、各小作人(賃借)ハ誠実ニ其義務ヲ履行スヘキコトヲ誓約シ若シ右契約小作料及未納小作料ノ支払ヲ怠リタル時ハ賃貸借(小作)契約ハ当然解除セラレ各小作(賃借)地ヲ直

チニ各地主ニ返還スベキコトヲ確約ス

一、右延滞賃借料（小作料）ノ支払及土地返還ノ義務ニ付不服  
行ノ場合ハ直ニ強制執行ヲ受クルモ小作人（賃借人）ニ於  
テ異儀ナキコトヲ約ス。

一、地主鈴木悦三、山口延次郎、山口源一郎ガ各契約期間終了  
後自作ヲ為ス為メ土地ノ返還ヲ受ケタル後大正二十二年二  
月二十五日迄ニ小作セシムル場合ニハ鈴木悦三八深田宣堯  
ニ山口延次郎ハ富岡次平ニ山口源一郎ハ野口高司ニ各小作

（賃借）セシムルコトヲ約ス。  
一、岡田嘉重、久保田角太郎、大嶋喜平治ヲ除ク他ノ各地主ハ  
本件土地ニ関シ提起シタル前橋地方裁判所大正十五年  
（ワ）第四七号土地返還並ニ小作料請求訴訟事件新田区裁  
判所大正十五年（ハ）第一八九号小作地返還及小作料請求  
訴訟事件ハ直チニ之ヲ取下クルコトヲ約ス

以上

（別表） 甲

地主	小作人	土地ノ表示	賃貸借ノ終期	一ヶ年小作料	小作料納期
山口延次郎	富岡 次平	山田郡毛里田村大字東今泉字鹿島四百七十番ノ一 田一反四畝十三歩	大正十七年 二月二十五日	玄米四俵六升三合	毎年十二月 二十五日限
長島勝次郎	森田 寶作	同郡同村大字矢田堀字小丸山甲四百二十三番田三 反二畝十三歩	大正十八年 二月二十五日	玄米九俵三斗二合	全
山口 廣吉	小林松之助	同郡同村大字矢田堀字前田甲六十一番田一反五畝 十二歩		玄米八俵一斗四升八合	全
全 人	全 人	同所六十二番田一反二畝三歩	全	玄米八俵一斗四升八合	全
長島勝次郎	村岡 力三	同郡同村大字矢田堀字八ヶ入六百四十番田一反六 畝二歩	全	玄米四俵六升三合	全
長島久太郎	野口惣次郎	同郡同村大字小丸山四百二十四番田一反六畝二十 七歩	全	玄米四俵三斗一升六合	全

恩田 彦市	富岡彌太郎	同郡同村大字東今泉大字鹿島浦五百十三番田三反一畝二十三歩	全	玄米九俵六斗	全
恩田 儀平	田中仙十郎	同所甲五百十一番田二反二畝三歩	全	玄米六俵三升三合	全
山口源一郎	野口 高司	同郡同村大字大道東五百七十四番田九畝二十八歩	大正十七年 二月二十五日	玄米三俵一斗六升一合全	全
全 人	全 人	同所五百七十五番田三畝二歩	大正十八年 二月二十五日	玄米十俵八升五合	全
岡田 嘉重	平野芳三郎	同郡同村大字吉澤字山田千五百七十四番田三反一畝九歩	大正十八年 二月二十五日	玄米七俵一斗二升一合全	全
鈴木 悦三	深田 宣堯	同郡同村大字矢田堀字小丸山四百六十九番田一反四畝十三歩	大正十七年 二月二十五日	玄米七俵一斗二升一合全	全
全 人	全 人	同所四百七十番田一反三畝十二歩	大正十八年 二月二十五日	玄米三俵一斗七升五合全	全
長島 熊治	野口惣次郎	同郡同村大字同字一丁田五百六十九番田一反三畝二十二歩	大正十八年 二月二十五日	玄米三俵一斗七升五合全	全
久保田角太郎	澁川久五郎	同郡同村大字只上字矢田堀下七百二十六番田二反二畝六歩	全	玄米六俵三斗四升四合全	全
大島嘉平次	森田 助七	同郡同村大字矢田堀字一丁田五百六十五番田一反二畝十四歩	全	玄米三俵五升七合	全
全 人	小林 長造	同郡同村大字同字八ヶ入五百九十三番田一反五畝歩	全	玄米二俵二斗六升七合全	全
全 人	小林松之助	同郡同村大字同字一丁田五百八十四番田六畝二十歩	全	玄米二俵一斗二升二合全	全
全 人	全 人	同所五百八十五番田七畝十九歩	全	玄米二俵一斗二升二合全	全

以上



## (別表) 乙

地主	小作人	大正十五年十二月二十五日支払ノ延滞小作料	大正十六年十二月二十五日支払ノ延滞小作料
山口延次郎	富岡 次平	玄米 三斗八合	玄米 三斗七合
長島勝次郎	森田 賢作	全 一俵二斗七升	全 一俵二斗七升
山口 廣吉	小林松之助	全 三斗一升二合	全 三斗一升二合
長島勝次郎	村岡 力三	全 一俵一斗	全 一俵一斗
長島久太郎	野口惣次郎	全 一俵二升四合	全 一俵二斗四合
恩田 彦市	富岡彌太郎	全 一俵三斗二合	全 一俵三斗一合
恩田 儀平	田中仙太郎	全 一俵六升二合	全 一俵六升二合
山口源一郎	野口 高司	全 三斗	全 三斗
岡田 嘉重	平野芳三郎	全 二斗五升	全 二斗五升
鈴木 悦三	深田 宜麿	全 一俵三斗二升	全 一俵三斗二升
長島 熊治	野口惣次郎	全 一俵一斗二合	全 一俵一斗二合
久保田角太郎	瀧川久五郎	全 一俵	全 一俵
大島嘉平治	森田 馬七	全 一俵八合	全 一俵七合
全 人	小林 長造	全 三斗二升五合	全 三斗二升三合
全 人	小林松之助	全 一斗三升	全 一斗三升

以上

## 調停条項

一、被申立人川田嘉一郎所有ノ山田郡毛里田村大字吉澤字落内  
甲千七百五十九番田一畝十四歩、同所千七百

六十一番、田六畝五歩、同郡同村大字丸山字貴船三百七十

九番田二反二畝二十八歩、同所三百七十七番田十二歩、同

所三百七十六ノ二番田四歩、同村字腰巻六百四十六番田一

反九畝十八歩ノ六筆ニ対スル被申立人喜一郎ト申立人江原

友藏トノ賃貸借契約及被申立人川田イク所有ノ同郡同村大

字吉澤字雷千八百三十二番田一反六畝八歩ニ対スル被申立

人イクト申立人江原友藏トノ賃貸借契約ハ共ニ大正十四年

度限り消滅シタルコトヲ当事者双方ニ於テ確認ス。

一、被申立人喜一郎ハ前項地所ノ内字落内甲千七百五十九番田

一畝十四歩同字千七百六十一番田六畝五歩ノ二筆ヲ申立人

川田寅藏ニ字貴船三百七十九番田二反二畝二十八歩同字三

百七十七番田十二歩同字三百七十六ノ二番田四歩ノ三筆ヲ

申立人小林惣吉ニ字腰巻六百四十六番田一反九畝十八歩ヲ

申立人小林長藏ニ又被申立人イクハ前項表示ノ字雷千八百

三十二番田一反六畝八歩ヲ申立人小林常三郎ニ執レモ次項

記載ノ賃料ヲ以テ大正十五年度ヨリ大正十八年二月二十五

日迄ヲ期間トシ賃貸スルコトヲ約ス。

一、右賃料ハ申立人川田寅藏分ハ一ヶ年玄米四斗入一俵三斗二

升二合、申立人小林惣吉分ハ同六俵一斗九升二合、申立人

小林長藏分ハ同四俵一斗二升三合、申立人小林常三郎分ハ

同四俵四升ト定メ毎年十二月二十五日限り各賃借人ヨリ其

賃借人ニ支払フベキコトヲ約ス。

一、申立人寅藏ノ被申立人喜一郎ニ対スル大正十三年度ノ延滞

賃料ハ玄米二斗八升、申立人惣吉ノ被申立人

喜一郎ニ対スル大正十三年度、大正十四年度ノ二ヶ年延滞

賃料ハ合計玄米二俵三斗二升、申立人長藏ノ被申立人喜一

郎ニ対スル大正十三年度、大正十四年度二ヶ年延滞賃料ハ

合計玄米一俵二斗九升八合又申立人常三郎ノ被申立人イク

ニ対スル大正十三年度ノ延滞賃料ハ玄米一斗六升ナルコト

ヲ各当事者ニ於テ承認シ右延滞賃料ハ執レモ之ヲ二ヶ年ニ

分割シ其ノ半額即申立人寅藏ハ一ヶ年分一斗四升申立人惣

吉ハ同一俵一斗六升申立人長藏ハ同三斗四升九合申立人常

三郎ハ同八升宛ヲ大正十五年、大正十六年ノ各十二月二十

五日限り前項表示ノ賃料ト合セ各其賃借人ニ支払フ事ヲ約

ス但シ申立人寅藏、常三郎ノ両名ニ限り大正十四年度ニ於

テ延滞賃料ノ存在セザルコトハ各当事者ニ於テ之ヲ確認ス。

一、各被申立人ハ賃借ノ土地ヲ他ニ売渡サントスル時ハ各賃借

人ノ同意ヲ經ル事ヲ要ス。

一、各小作(賃借)人ハ各地主ニ対シ如何ナル事由ヲ問ハズ其

ノ同意ヲ得ル事能ハズシテ小作料ノ減免ヲ主

張セントスルニハ左ノ手続ヲ經ルコトヲ要ス。

各小作人ハ毎年十月中ニ県小作官ニ小作料ノ減免ヲ申出テ

本件調停委員タリシ者ノ評議決定ヲ請求シ

県小作官ハ直チニ右委員ヲ招集シ其評決ヲ為サシムルモノトス。

右委員ハ検見ヲ必要ナリト認メタルトキハ之ヲ遂ケ其減免ノ事由ノ有無若シ減免ノ事由アリトセハ其額ヲ定ムル為メ評議決定ス。

調停委員タリシ者止ムヲ得ザル事故アリテ評決ニ加ハル事能ハサル場合県小作官ニ於テ補充員ノ必要アリト認メタルトキハ之方選任ヲ県小作官ニ委託ス各地主小作人ハ右委員ノ評決ニ服従スルモノトス。

右手続ノ費用ハ其申立ヲ為ス者ニ於テ之ヲ予納シ其ノ負擔者ニ付テハ右委員ニ於テ之ヲ決定ス。

一、各小作人ハ毎年十月中県小作官ニ申出テ委員ノ評決ヲ經ルニ非ラザレバ約定小作料ヲ支払義務ヲ負フモノトス。

一、各小作人ハ誠実ニ其義務ヲ履行スヘキコトヲ誓約シ若シ契約小作料及延滞賃料ノ支払ヲ怠リタル時ハ賃貸借契約ハ当然解除セラレ各小作地ヲ直チニ各地主ニ返還スベキコトヲ確約ス。

一、右賃料(前示延滞賃料ヲ含ム)ノ支払ヒ及土地返還ノ義務ニ付キ不履行ノ場合ハ直チニ強制執行ヲ受クルモ小作人ニ於テ共ニ異儀ナキコトヲ特約ス。

一、被申立人哥一郎ハ申立人寅蔵、長蔵、常三郎ニ対シ本件土地ニ関シ提起シタル前橋地方裁判所大正十五年(ワ)第四八号土地返還並ニ小作料請求訴訟事件ハ直チニ之ヲ取下ク

ル事ヲ約ス

(五) 調停条項ニ依ル立毛ノ検見

争議ノ原因

前期(四) 調停条項ニ依リ大正十五年度小作料ノ決定方申請アリ左記ノ如ク決定セリ

申立番(原文)

山田郡毛里田村大字丸山

申立人(小作人) 平野 某

同郡同村大字吉澤

相手方(地主) 岡田 某

争議ノ目的タル土地ノ表示

山田郡毛里田村大字吉澤字山田千五百七十四番

田三反一畝九步

右当事者間前記小作地ニ対シ白穂約六分発生致シ其レガ為地主ニ対シ実地調査ノ小作減額ヲ交渉セルモ何等聞入レナク依ツテ大正十五年(小調)第三号四項ニ基キ実地御検査ノ上相当御處理相成度此段申請候也

争議ノ経過

依リテ十月十九日午前十時ヨリ山田郡毛里田村役場ニ於テ之レカ評決ヲ為スヘク關係調停委員、大島戸一、清水及衛、新井機一ノ各調停委員及山田郡農會技師岡田和郎氏ヲ召集シ協議ノ結果検見ノ必要ヲ認メ更ニ十月二十三日前記調査委員三名、小作

官及郡農会技師等現場ニ出張シ作柄ニ付詳細調査ヲ遂ケ且ツ坪刈(三坪)ヲ為シタリ。

小作者ハ穂首稲熟病ノ發生ニ驚キ申立ヲ為シタルモ其ノ多クハ充実シ居リテ収量ニ影響ヲ与フルコト極メテ少キヲ認メラレタリ。

而シテ該坪刈畑ハ岡田郡農会技師保管ノ下ニ乾燥、調製ヲ行ヒ更ニ同技師ヨリ坪刈収量調査ノ報告ヲ待チ十一月十六日前記各委員ヲ県庁ニ再ビ召集シ其ノ後坪刈玄米ニ付容量、重量、品質ヲ調査シ一面申立人タル小作者ト相手方タル地主ト申述ヲ對比シ尙小作者ノ耕作方法等ニ関シ慎重ナル調査ノ結果之レガ評決ヲ為シタリ。

調停委員ノ評決ニ拠ル決定書(写)次ノ如シ。  
結 末

決定書(写)

山田郡毛里田村大字丸山

申立人 平野 某

山田郡毛里田村大字吉澤

相手方 岡田 某

一 争議土地

山田郡毛里田村大字吉澤字山田千五百七十四番

田三反一畝九歩

前記土地ノ大正十五年度小作料ニ付右当事者間ニ於テ争ヲ生ジ大正十五年(小調)第三号ノ調停条項ニ依リ其ノ小作料ノ決定

小作争議と小作調停(三)(川口)

ヲ申出タルニ對シ調停委員タル者ノ評決ヲ經テ左ノ通り決定通知ス

記

小作料減額ノ事由無し

理由

坪刈調査ニ依レバ三坪容量ニ一斗一合五勺、重量八百三匁ニシテ之レヲ認定有効反別ニ反九畝二十四歩ニ換算スレバ収量六石四斗七合トナル。

而シテ十月二十三日現場調査ニ際シ申立人平野某ガ申述フル所ニ依レバ該田地ヨリ同人ガ得ル最多収量ハ六石八斗(十七俵)

ニシテ大正十四年ノ実収量ハ五石九斗(十四俵三斗)ナリ此ノ最多収量ト大正十四年実収量トノ平均ヲ求ムレバ六石三斗五升

ニシテ本年坪刈成績ニ依ル収量ニ依ル収量ハ其ノ額ヲ超過スルコト五升七合ナリ依リテ小作料減額ノ必要ヲ認メズ。

坪刈玄米ハ山田郡農会岡田技師ノ手ヲ經テ之レヲ申立人平野某ニ還付ス。

大正十五年十一月十六日

小 作 官 名

争議ノ原因 (一八) 東今泉及富若争議

本争議ノ原因ハ小作人大字東今泉田中某外一名及大字只上河田某外十名ヨリ大正十三年以來稲作ガ旱害又ハ用水不足ノ為メニ

減収セルヲ以テ小作料減額要求ヲ為セルニ地主大字富若江原某外五名及山田郡大間々町中島某ノ七名ハ之レニ応セズ又一面村農会ガ発表セル査定小作料実施ヲ地主ニ要求セルニ之亦不当ノ査定ナリト稱シ之レヲ容レザルニ因レリ。

争議ノ経過

小作人ハ大正十四年二月二十四日地主ニ対シ其ノ小作地山田郡毛里田村大字富若及東今泉田三町六反二畝六歩ニ付旱害減収ノ理由トシテ小作料二割五分ノ減額ヲ要求シタルニ地主ハ之レニ応セズ為メニ小作人ハ其ノ減額要求皿ヲ差引キ地主ニ納付セリ。又小作人ハ十四年度稲作ハ前年比シ一層旱害被害アリト為シ小作料ノ一時の減額ヲ要求スルト共ニ永久小作料ニ付テハ村農会査定小作料ノ承認ヲ地主ニ要求シ以テ小作ヲ繼續セム事ヲ求めタルニ地主側ハ斯クノ如キ要求ハ到底承認スル能ハズト拒絶セリ。

小作人ハ其ノ後再三査定小作料認容ノ交渉ヲセルニ地主ハ協議ノ上絶対ニ承認セザルコトヲ言明シタルニ依リ小作人ハ協調ノ見込ナシト査定小作料ノ範圍ニ於テ小作料ヲ納入シタリ依リテ地主側ハ不足小作料ヲ請求スルト共ニ併セテ土地返還ノ要求ヲモ為シテ大正十五年ニ入りタリ。

而シテ小作人ハ一月四日ニ至リ地主ニ対シ査定小作料ヲ認容シ且ツ耕地ノ返還要求ヲ撤回スルト共ニ十五年度ハ用水不足ニシテ植付灌溉ニ対シ非常ナル努力ヲ費シタルモ尚半年作ヨリ二割乃至四割ノ減収ナルヲ以テ特ニ十五年度分ハ査定小作料ヨリ一

割ヲ減額セラレ度シト要求シ之レガ調停ヲ前橋地方裁判所ニ申立タリ。

依リテ一月十七日新田区裁判所ニ於テ調停委員会ヲ開キ前橋地方裁判所長森判事及多胡小作官出席地主、小作両者ヲ召致シ調停ニ努メタル結果翌十八日左記条項ニ依リ調停成立セリ。

結末

#### 解決条項

一、相手方(地主) 所有ニシテ申立人(小作人)ノ小作セル左記甲号表記載土地ノ既定小作料ヲ以テ大正十五年度ヨリ同表記載ノ協定小作料ノ如ク改定スルコト。

一、前項小作料ハ申立人(小作人)ニ於テ毎年度其ノ年ノ十二月二十五日限り合格玄米ヲ以テ相手方(地主)ニ支払フコト、但大正十五年度小作料ハ昭和二年一月二十二日迄ニ支払フコト。

一、相手方(地主)ハ申立人(小作人)ヨリ大正十五年度小作料ノ支払ヲ受クルト同時ニ旱害防止ノ水掛費トシテ反当リ金參円ヲ給付スルコト。

一、第一項ノ改定小作料ハ大正十三年度ニ遡リ之ヲ適用スルコト。

一、申立人(小作人)ハ左記乙号表記載ノ大正十三年同十四年度ノ延滞小作料ヲ同表記載ノ方法ニ依リ支払フコト。

一、本件調停費用ハ当事者ヲ自弁トス。

別紙甲号表

地主	当事者		所在地	地番	面積	既定小作料	協定小作料
	小作人	目					
中島宇三郎	瀧川 要助	田	山田郡毛里田村大字東今泉字鹿島	甲 四二八	一八一四	二石九斗	二石七斗六合
全	全	全	全	甲 四二九	七二六	二石九斗	二石七斗六合
全	長谷川繁蔵	全	全	五〇六	三四〇九	四石一斗	三石六斗七升四合
全	佐藤伊次郎	全	全	四七九	一九〇七	四石四斗	四石一斗
全	全	全	全	四五〇	一七〇二	四石四斗	四石一斗
全	富岡久次郎 荒木忠五郎	全	全	四〇三	四〇二六	五石四斗	五石五升一合
全	田中仙太郎	全	全	三九〇	一六〇六	一石九斗	一石九斗四升九合
小林諒一郎	瀧川 要助	全	全	甲 三九三	二二一六	二石七斗	一石四斗八升
全	富岡 次平	全	全	三九七	一四一三	二石七斗	一石四斗八升
全	全	全	全	四〇七	六二六	二石六斗	二石二斗六升九合
全	富岡利三郎	田	全	四〇六	二四三二	三石二斗	二石八斗四升九合
全	八木田勘作	全	全	四五四	二五〇六	三石三斗	二石八斗七合
全	林安 五郎	全	同村大字東今泉字富岡	八	一五二七	二石六升	二石七斗七升四合
山口延次郎	古暮 賢治	全	同村大字同字鹿島	四七二	一四〇五	一石八斗四升	二石七斗五升八合
遠藤智五郎	橋本 彦吉	全	同村大字富若字澤田	六一	二六一五	三石二斗	二石七斗五升九合

## 別紙乙号表

法字志林 第一二卷 第一号

地主	小作人	延滞小作料			支払	方法
		大正十三年	大正十四年	計		
中島宗三郎	瀧川 要助	三斗六合	三斗六合	三斗六合	昭和二年二月廿五日	三斗六合
全	長谷川繁蔵	—	—	—	—	—
全	佐藤伊次郎	九斗	五斗	一石四升	七升	七斗
全	富岡久次郎 荒木忠五郎	一石五升一合	二斗五升一合	一石三斗二合	六斗五升一合	六斗五升一合
全	田中仙太郎	七斗四升九合	一斗四升九合	八斗九升八合	四斗四升九合	四斗四升九合
小林諒一郎	瀧川 要助	四斗八升	八升	五斗六升	二斗八升	二斗八升
全	富岡 次平	五斗六升九合	三斗六升九合	九斗三升八合	四斗六升九合	四斗六升九合
全	富岡理三郎	八斗四升九合	四斗九合	八斗九升八合	四斗四升九合	四斗四升九合
八木田勘作	瀧川 要助	四斗七合	七合	四斗一升四合	二斗七合	二斗七合
全	林安 五郎	一斗七升四合	一斗七升四合	三斗四升八合	一斗七升四合	一斗七升四合
山口延次郎	古暮 賢造	五斗五升八合	八升八合	六斗四升六合	三斗二升三合	三斗二升三合
遠藤留五郎	橋本 彦吉	—	—	—	—	—

以上

## 二 昭和三年争議

(一) 富若争議  
争議ノ原因

毛里田村大字富若小作人河田某外三名ハ其ノ小作地タル大字富若所在田五反一畝五歩ニ対シ從來ノ契約小作料ハ高率ナルニヨリ昭和二年度ヨリ毛里田村農会査定小作料ニ改定シ之レガ実行方ヲ大字富若地主栗原某外一名ニ対シ要求為シタルニ地主ハ村農会査定小作料ハ小作者ノ意見ニテ決定セルモノニシテ公正ヲ欠クモノナル故到底之レニ応ズル能ハズ小作料ノ高率ナリヤ否ヤハ昭和三年度以降地主ノ意見ニ依リ之レカ査定ヲ実行スベシト主張シ昭和二年度ハ小作料納入期日ヲ経過セルニヨリ速ニ納入スベシト請求シ小作者ハ地主ニ於テ査定小作料ヲ実行スルニ非ラサレハ小作料ハ之ヲ納入セスト主張シ争議トナレリ。

争議ノ経過  
小作者ハ毛里田村農会ノ査定小作料実行即チ現在ノ契約小作料ノ約二割乃至三割ノ減額ヲ主張シ地主ハ昭和二年度ノ如キ豊年ニアリナガラ尚小作料ノ減額ヲ要求スルニ於テハ小作者ハ不当ノ要求ヲ為スモノナルヲ以テ速ニ土地ヲ返還スルヘシト主張シ且ツ昭和二年度ノ小作料ハ既ニ多数ノ小作者ヨリ契約小作料通り納入済ニナルモノナレバ滞納シ居ル者ニ対シテ減額スルコトハ断ジテ不可能ナリト主張セリ小作者ハ昭和二年度ノ小作料ハ之レヲ滞納シ地主ニ於テ査定小作料実行ニ応ズル迄ハ納入セサルコトニ決意シ其ノ実行方ヲ再三地主ニ交渉スルモ地主モ頑強

## 小作争議と小作調停 (三) (山口)

ナル態度ヲ採リ更に応ズル見込ミナキヨリ小作者ハ一月十五日同村長ニ調停ノ申立ヲ為セルニ対シ村長ハ小作官ノ法外調停ヲ申請セル為メ小作官ハ一月二十六日同村役場ニ出頭シ地主ニ対シ從來ノ小作料ノ高率ナルコトヨリ村農会査定小作料ヲ基礎トシ他ニ小作調停法ニ依リ解決セラレタル事例ニ準シ小作料ヲ改定スルコトノ必要ヲ説明シ速ニ斯ル紛争ノ解決ヲ促シタル処地主モ了解シ進ンデ直接小作人ト交渉妥協セムトスル意ヲ生ジタルヲ以テ一先調停ヲ打切ルコト、シタリ。

然ルニ兩者ノ意見ニ懸隔アリ容易ニ解決ヲ見サル為メ同村長ヨリ再度調停方ノ申請アリタルニ依リ三月二十八日小作官ハ同村役場ニ出張シ調停ニ努メタルガ小作者ノ一人減額要求額ヲ引去リ納入シタルヲ以テ地主ハ査定小作料ナラバ特ニ調停ニ応ゼストモ小作人ニ於テ漸次納入スルニ至ルベキヲ察知シ次第ニ強行ナル態度トナリ且ツ土地ノ返還ヲモ請求スルニ至リタル故小作官ハ適當ナル時期ヲ待チテ可決案ヲ示スノ要アリト為シ一時調停ヲ中止シ次テ四月二十八日同村役場ニ出張シ解決ニ努メタル結果終ニ左記条項ニテ解決シタリ。

## 結果

## 調停条項

一、地主栗原源吉ハ小作人河田福太郎ニ対シ毛里田村大字富若字韭川東田一反五畝十四歩ヲ昭和六年六月二十五日迄一ヶ年小作料玄米四俵二斗ニテ貸貸スルコト(從來ノ契約小作料五俵ヨリ二斗ヲ減額ス)



一、前記土地ニ関スル昭和二年度分滞納小作料四俵二斗八昭和三年四月三十日限り納入スルコト大正十五年以前ノ滞納小作料ハ既ニ金銭債務ニ改メタルモノヲ除キ其ノ他ハ地主ニ於テ之レヲ免除ス。

一、地主江原小太郎ハ小作人河田源次郎ニ対シ毛里田村大字富若字韭川東田八畝九歩ヲ昭和三年度ヨリ一ヶ年小作料玄米二俵二斗ニテ貸貸スルコト（従来ノ契約小作料ヨリ五升ヲ減額ス）

一、地主江原小太郎ハ小作人鈴木愛吉ニ対シ毛里田村大字富若字十三坊田二反七畝十二歩ヲ昭和三年度ヨリ一ヶ年小作料玄米八俵ニテ貸貸スルコト（従来ノ契約小作料ヨリ一斗ヲ減額ス）

一、小作人河田源次郎ハ昭和二年度分滞納小作料玄米二斗五升小作人鈴木愛吉ハ同年度滞納小作料玄米八俵一斗ヲ地主江原小太郎ニ対シ昭和三年四月三十一日限り納入スルコト。

一、各地主ハ各小作人ニ対シ滞納小作料ノ納入ニ対シテモ之レニ該当スル奨励米及俄装料ヲ交付スルコト。

### (二) 富若小作人間ノ争議

争議ノ原因  
本件争議ハ小作人間ノ争ヒニシテ大字富若小作人（転賃人）橋本某ハ山田郡毛里田村大字富若田二反二畝二十四歩ヲ其ノ所有主大澤某ノ土地管理者大木某ヨリ賃借シテ耕作シ其ノ後同村小

作人（転賃人）馬場某ニ転賃シ今日迄約十ヶ年ヲ経過セリ、其ノ間馬場某ハ毎年小作料ヲ転賃人橋本某ニ納入シ居レリ。然ルニ馬場某ハ従来ノ契約小作料六俵ハ高率ナル故村農会ノ査定小作料五俵一斗ニ改定スベキモノナリトテ昭和二年度小作料ヲ納入セズ之レニ対シ橋本某ハ家族増加シ家庭ノ事情変化シタルヲ理由トシテ昭和三年度ヨリ右土地ノ返還ヲ要求シ馬場某ハ既二十ヶ年間モ耕作セル土地ニシテ永久ニ耕作出来得ルモノト

信ジ居リタルニ依リ直チニ返還セシメラルルニ於テハ生活上甚ダ困難トナル故代地ヲ得ル迄ハ小作契約継続ノ要アリト主張シテ争議トナレリ。

### 争議ノ経過

小作人馬場某ハ昭和二年度ノ小作料ハ之レヲ滞納シ居ル為メ橋本某ハ昭和三年一月十四日内容証明郵便ヲ以テ小作料ノ納入請求及小作契約解除ノ通告ヲナセリ之レニ対シ馬場某ハ右ノ要求ニ応ゼザル旨ヲ回答シ其儘時日ヲ経過セリ依リテ三月二十九日小作官ハ同村役場ニ出張シ同村長立会ノ下ニ両者ノ事情ヲ聴取シ調停ニ努メタル結果橋本某ハ昭和三年ヨリ三ヶ年間転賃スルコトヲ承諾シ尚小作料ハ従来馬場某ヨリ橋本ニ納入シ更ニ橋本ヨリ大木某ニ納入セルモノヲ直接馬場ヨリ大木ニ納入セシムル事ヲ承諾シ馬場モ小作料ハ従来通り六俵納入スル事ヲ承諾セルヨリ事件ハ一時円満解決シタリ。

然ルニ馬場某ハ昭和二年度滞納小作料ヲ直接大木ニ納入セント交渉セル所大木ハ馬場ノ転借ヲ認メズ且ツ小作料ハ橋本ヨリ納

入セザレバ土地ヲ貸貸セズト主張セル為メ事件ハ解決セザルニ至レリ依ツテ小作官ハ四月十二日当事者橋本、馬場ノ兩人ヲ県庁ニ呼び尚再度調停ニ努メタル結果終ニ左記条項ヲ以テ小作契約ヲ継続セシムルコトトナリ小作契約書ヲ作製シ当事者双方ニ所持セシメ円満解決ヲ遂グタリ。

結 末

#### 調停条項

一、橋本彦吉ハ毛里田村大字富若大木徳次ヨリ賃借セル土地毛里田村大字富若字十三坊百二十番田二反二畝二十四歩ヲ馬場龍吉ニ対シ左ノ条件ヲ以テ転貸契約ヲ締結セリ。

(一) 転貸借期限 昭和六年六月二十日本期間満了後ハ直チニ右土地ヲ橋本彦吉ニ返還スルコト

(二) 契約小作料一ヶ年合格玄米六俵

(三) 小作料納入期日毎年十二月三十一日

(四) 馬場龍吉ハ右小作料ヲ橋本彦吉立会ノ上大木徳次方ニ納入スルコト

#### 第四 地主恩田某ニ関スル争議

一 大正十四年争議

争議ノ実情

小作人小野某外二十三名ハ地主恩田某ヨリ田六町一反六畝二十

小作争議と小作調停 (二) (山口)

三步ヲ賃借小作シ来リタルニ大正十三年旱魃ノ影響ニ依リ收穫減少セリト称シ小作料二割五分ノ減額ヲ恩田某ニ申込ミタルモ容レラレス依リテ小野某等一同ハ小作地ヲ返還スベシト称シ大正十四年二月二十四日土地賃借契約ヲ解除スベキ旨恩田某ニ対シ声明シタリ。

而シテ地主ハ之レヲ自作スベキ旨明言セリ、然ルニ地主恩田某ハ農馬ヲ購入シ常雇ヲ雇入レ一部自作ノ準備ヲ為シタルモ一部ハ亦他ニ小作人ヲ求メテ貸与シ或ハ土地ヲ売却セントセリ。

斯クノ如クシテ挿秧期ノ切迫シ来ルニ随ヒ小作人中組合幹部ニ強ヒラレテ心ナラズ返還ヲ実行シタルモノハ其ノ窮境ヲ組合幹部ニ訴フルモノ統出シ来リタルヲ以テ小作者側ハ六月二十二日耕地返還ヲ取消シ従来通り小作スベキ旨地主ニ通知セリ。

其ノ情勢不安ナルヲ認メ県小作官ハ直チニ同村ニ出張シ(大正十四年六月二十四日)小作組合長小野某ヲ同村役場ニ召致シ調停法ニ依リ即日申立ヲ懲懲シ翌二十五日他ノ小作者分ヲモ併セ同村役場ヲ經由シ前橋地方裁判所ニ申立書ヲ提出セリ。

然ルニ小作者ハ現在圃場ニアル小麦刈取ト共ニ直ニ田植ニ着手シ地主又既ニ耕地ハ返還セラレ小作者ニ於テ耕作スル權利ナキモノナリトシテ使用人ヲシテ植付ヲ開始セシメ此所ニ兩者ノ衝突ヲ惹起セムトシ情勢寸刻ニシテ危機ニ迫レルヲ以テ小作官ハ夜間現場ニ急行シ其ノ間ニ入り当日(六月廿六日)正午迄兩者共一応田植ヲ中止セシメ即時前橋地方裁判所ニ通知シ同日午前十一時三十分同村ニ於テ裁判所直接ノ調停ヲ開始セリ此ノ間太

田警察署ハ萬一ヲ慮リ多数警察官ヲ現場ニ派シ警戒ニ努メタルヲ以テ流血ノ慘事ヲ見ズシテ止ミタリ

小作人ノ調停申立趣旨

小作人小野某外二十三名ハ地主恩田某ヨリ田地ヲ賃借シ来リタルモノナル処大正十三年早魃ノ為メ収穫減少シタルヲ以テ小作料ニ割五分ノ軽減ヲ地主恩田某ニ要求シタルニ地主ハ之レヲ容レザルノミカ耕地返還ヲ要求セルヲ以テ小作者一同ハ地主ガ試験的自作ヲ為スニ於テハ之レヲ返還スベク主張シ其ノ意志ヲ表明シタルモノナルニ拘ラス其ノ後ノ經過事實ニ依レバ他ニ小作人ヲ求メテ之ニ貸与シ又貸与セムトスル意志ヲ公表シ全ク自作ノ意志ナキモノナレバ地主ノ誠意ヲ認め難シ依リテ大正十四年六月二十二日耕地返還取消ノ通知ヲ為シ引続キ小作セムトシテ調停ヲ申立タルモノナリ。

調停ノ經過

調停申立當時ハ其ノ挿秧期ニ接迫シテ一日ヲ緩フスルヲ得ザルヲ以テ調停委員会ヲ開催スル暇ナク直チニ裁判所直接ノ調停ヲ開始シ第一回ヲ同村西小学校ニ於テ二十六日午前十一時三十分開会袖木判事、多胡小作官、伊藤書記、列席シ地主恩田某、小作人小野某外四名ノ総代ヲ出頭セシメ小作者側ヨリ申立ノ要旨ヲ陳述セシメ次テ地主ノ之レニ対スル主張ヲ聴取シ之レヨリ調停ニ入ルベキヲ以テ両者共調停ノ終結スル迄絶対ニ挿秧ニ着手スベカラサル旨ヲ告テ閉会セリ。

次回ハ翌二十七日午後一時前橋地方裁判所ニ於テ開会森判事

(地方裁判所長) 主任トナリ、多胡小作官、袖木判事列席地主恩田某、小作者小野某ヲ出頭セシメ調停ヲ開始シ尚二十八日モ午前十時ヨリ前日ニ引続キ調停ヲ進メ同日午後三時ヨリ新田区裁判所ニ場所ヲ転シ列席前同様ニシテ地主恩田某、小作者小野某、外四名ノ総代ヲ出頭セシメ調停案ノ概要ヲ示シテ先ヅ小作者側ノ意見ヲ聴キ次テ地主ノ意見ヲ聴取シ極力互譲ヲ促シ調停ニ努メ翌二十九日八午前八時ヨリ同所ニ開会列席者前日ノ三名ノ外更ニ前橋地方裁判所柴田判事ヲ加ヘ小作者全員二十四名ヲ出頭セシメ各調停案ニ対スル意見ヲ聴キ之レニ応スベク懲慙シ更ニ地主恩田某ノ外同人ノ部落ナル矢田堀地主全員十九名ヲ出席セシメ該調停ニ関スル一般地主ノ意向ヲ質シタルニ裁判所ノ調停趣旨ニ賛意ヲ表シ恩田地主ヲ勸メテ譲歩ヲ促スノ態度ニ出デタルヲ以テ調停進捗シタルモ尚小作料未納分ニ関シ容易ニ互譲ヲ見ル能ハズシテ長時間ヲ要シタリシガ遂ニ同日午後十時調停成立シ別記ノ如キ条項ニ依リ解決セリ。

結 末

#### 調停条項

第一、申立人ト被申立人間ニ締結シアリタル群馬県山田郡毛里田村地内土地賃貸契約(小作契約)ハ大正十四年二月二十四日小作人タル申立人ヨリ其土地ヲ返還シテ解約セラレタルモノナルコトヲ申立人ニ於テ承認シ更ニ大正十四年六月二十九日新田区裁判所ニテ被申立人恩田政七ト申立人中ノ小野隆次、野口浪三郎、村岡善藏、梅澤淺次郎トノ間ニ左ノ如キ前同村

地内土地賃貸契約（小作契約）ヲ締結ス。

一、小野隆次、野口浪三郎、村岡善藏、梅澤淺次郎が恩田政七ヨリ借受クヘキ地所

東今泉字鹿島四百四十四番田三反六畝十七步（元小野齊作小作地ニシテ申立人提出ノ土地表示ニ同番田三反六畝十四步トアルモノ）

東今泉字鹿島 四百五十八番田一反三畝六步  
全 字全 三百八十五番田三畝十三步

全 字 甲四百二十六番田一反一畝八步  
（以上三筆元瀧川貞司小作地）

東今泉字鹿島浦五百二十番（申立人提出ノ土地表示ニ鹿島五百二十番トアルモノ）田五畝四步

同 所 五百二十二番田一反四畝四步（申立人提出土地表示ニ鹿島五百二十二番田一反四畝十四步トアルモノ）

（以上二筆元富岡彌太郎ノ小作地）  
東今泉字鹿島四百五十五番田一反四畝五步（申立人提出土地表示ニ鹿島四百五十五番田一反三畝十步トアルモノ）

同 所 四百五十六番田三反七畝四步（申立人提出土地表示ニ鹿島四百五十六番田三反五畝一步トアルモノ）

（以上二筆元小野隆次小作地）

小作争議と小作調停 (三) (川口)

同 所 四百八番田一反三畝五步  
（元瀧川素一郎小作地）

同 所 甲四百十番田一反二十一步  
同 所 三百九十九番田一反六畝六步（申立人提出土地表示ニ鹿島三百九十九番田一反六畝步トアルモノ）

（以上二筆元富岡岡平ノ小作地）  
東今泉字川西八百二十二番田一反一畝十步（元野口浪三郎小作地）

同 所 八百五十一番田一反三畝一步  
（元梅澤淺次郎小作地）

同 所 八百二十五番田九畝三步  
同 所 八百二十六番田八畝二十九步  
（以上二筆元村岡善藏小作地）

矢田堀字二宮四百七十六番田一反三畝二十七步  
同 字小丸山四百七十二番田一反一畝二十五步  
（以上二筆元川田定五郎小作地）

同 字一町田五百八十六番田一反四畝三步  
（元村岡市三カ村岡コノ名義ニテ小作セシ土地）

古水字置田百四十九番田一反三畝二步  
（元村岡定次郎カ村岡タケ名義ニテ小作セシ土地）

只上字三ツ堀八十番田四反九畝六步  
同 所 甲八十一番田一反三畝二十七步  
同 所 乙八十一番田一反五畝三步

同 所 甲八十一番田一反三畝二十七步  
同 所 乙八十一番田一反五畝三步

同 所 甲八十一番田一反三畝二十七步  
同 所 乙八十一番田一反五畝三步

同 所 甲八十一番田一反三畝二十七步  
同 所 乙八十一番田一反五畝三步

同 所 八十二番田一反二畝六歩

(以上四筆、元高野并次郎小作地)

丸山字宿東七番田六畝一歩

(元元村音吉小作地)

(元某小作地トアルハ大正十四年二月二十四日解約シタル貸借契約ニ依リ某カ小作セシ土地ヲ云フ)

二、小作料ハ大正十四年二月二十四日解約セラレタル貸借

契約ニ各土地ニ付定メラレタル額即チ従前ノ例ニ拠リ支

払時期其ノ他ノ約款モ亦総テ右契約ニ定メタル所ニ従フ

三、契約ノ期限ハ二ヶ年即チ大正十五年度小作期限迄トス

四、地主恩田政七ニ於テ自ラ使用スベキ必要ヲ生シ又ハ他ニ

得ザルコト

五、今回ノ紛擾ニ依リ植付ノ時機ヲ失シタリト主張シ又ハ苗

不足ヲ事由トシテ小作料減額ノ請求ヲ為サザルコト

第二、小野隆次、野口浪三郎、村岡善藏、梅澤淺次郎ハ右恩田

政七ヨリ借受ケタル小作地ヲ他ノ本件申立人中須藤瀧次郎、

藤井久藏、藤井鉄五郎、藤井正平ヲ除ク其ノ余ノモノト協議

ヲ遂ケ分配シ右須藤瀧次郎外三名以外ノ申立人ハ小野隆次外

三名ノ人ヨリ之レヲ転借シ其ノ転貸ハ恩田政七ニ於テ之レヲ

承認ス。

第三、小野隆次外三名カ恩田政七ニ支払フヘキ本件土地賃借料

(小作料)ニ付右転借人ハ各転借地ノ賃借料ニ限り恩田政七

ニ対シ小野隆次外三名ノ支払義務ヲ連帶シテ保証ス。

第四、須藤瀧次郎ハ宮内西藏ト特約ヲ結ビ藤井九藏ハ其ノ小作

セシ土地ヲ恩田政七ニ於テ返還ヲ受ケタル後長竹仙十郎ニ売

却シタリト主張スルヲ以テ又藤井鉄五郎、藤井正平ハ藤井九

藏ヨリ土地ヲ転借セシモノナルニ依リ何レモ前第一項乃至第

三項ニハ關係ナキモノトス。

第五、本件申立人中恩田政七ニ対シテ負担スル大正十三年度小

作料支払不足額納入ノ義務ハ之レヲ大正十四年六月末日ノ時

価ニ換算シテ大正十四年七月三十日迄ニ借用証書ノ債務ニ改

メ年八分ノ利息ヲ附シ同月一日ヨリ三ヶ年間に支払フコト

ヲ約ス。

第六、恩田政七ハ今泉地内ノ堀浚ニ要シタル人夫賃並諸色代金

ハ何人ニモ其ノ請求ヲ為サス小暮熊太郎(清一郎)カ係争ノ土

地ニ今回植付ケタルモノハ之レヲ抛棄スルコト。

以上

(附記説明)

申立人、川田六藏、川田兼吉、島崎利三郎、小暮清一郎、森

田利喜藏ノ小作セル田一町五反九畝二歩ハ之レヲ返還シ被申

立人タル恩田政七ニ於テ自作ヲ為シ右五名ノ申立人ハ別ニ小

野隆次外三名ニ於テ恩田政七ヨリ借受クベキ耕地ノ配分ヲ受

ケ小作ヲ為スモノトス。

## 二 昭和二年争議

## 争議ノ原因

本争議ハ曩ニ前橋地方裁判所大正十四年(小調)第二号小作調停事件ノ調停事項ニ依リ大正十五年度小作期限迄ヲ契約期限トセルモノニシテ当時麦作ノ仕付ナキ苗代田ニ付テハ大正十五年度稲作刈取迄カ契約期限トナルヲ以テ地主恩田某ハ該期限ニ於テ手全部土地ヲ引上ゲントシ二月十八日苗代田ニ付テハ鋤起シヲ行ヒ苗代準備ニ着手セリ、然ルニ同村小作組合所屬小作人八名ハ毛里田村大字東今泉耕地田一町八反六畝七步ノ返地ヲ拒ミ地主ノ鋤起シタル後へ菜類ヲ植付ケ殊ニ其ノ当事者中ニハ小作組合長タル小野某モ加ハリ地主ニ對抗シタル為メ急性ナル争議トナレリ。

## 争議ノ経過

地主ハ争議土地ノ中苗代田一反二畝二十三步ニ付調停条項ニ基テ返還期限到来セリトテ該土地ノ引渡並立入禁止ノ仮処分ヲ前橋地方裁判所ニ申請シタリ。

此ノ間毛里田村長ハ之レガ調停ヲ試ミムトセルニ地主ハ頑トシテ応セス争議ハ益々熾烈トナリ同裁判所ハ三月十日前記申請ニ対シ口頭弁論ヲ開始スベク通告ヲ為シタルニ小作者側ハ其ノ前日即チ三月九日調停ノ申立ヲ為セリ依リテ直チニ同月十四日及十九日ノ二回調停委員会ヲ開キ調停頗ル困難ナリシモ小作者ハ猶下方ニ於テ交渉妥協ノ余地アリト為シ調停ノ申立ヲ取下ゲタリ。

## 小作争議と小作調停(三)(山口)

而シテ示談ニ担ラムトセシモ地主ハ之レヲ拒絶セリ依リテ再び小作者ハ三月三十一日調停ノ申立ヲ為シタルヲ以テ四月七日調停委員会ヲ開キ左記条項ニ依リ調停ノ成立ヲ見タリ。

## 結 末

## 解決条項

一、申立人等(柳田金平ヲ除ク)ハ大正十四年(小調)第二号小作契約継続請求事件ノ調停条項ニ基テ貸借ノ終了ニ因リ申立人小野隆次カ相手方ヨリ貸借シ且ツ野口浪五郎、瀧川素一郎等カ小野隆次ヨリ転借セル左記表示ノ土地ヲ本日限り相手方ニ返還スルコト。

一、相手方ハ前項土地中左記八筆ヲ左記小作料ニテ更ニ申立人柳田金平ニ賃貸スルコト。

群馬県山田郡毛里田村大字東今泉鹿島四百五十八番

一 田一反三畝六步

同 所 三百八十五番

一 田三畝十三步

同 所 甲四百二十六番

一 田一反一畝八步

以上三筆小作料一ヶ年三石二斗

同 所字鹿島浦 五百二十番

一 田五畝四步

同 所 五百二十二番

一 田一反四畝四步

以上二筆小作料一ヶ年二石三斗  
 同 所大字鹿島 四百八番  
 一 田一反三畝五步  
 此小作料一ヶ年一石六斗  
 同 所 甲四百十番  
 一 田一反二十一歩  
 同 所 三百九十九番  
 一 田一反六畝歩  
 以上二筆小作料一ヶ年三石二斗

一、相手方ハ柳田金平カ前項土地ヲ本件貸貸借期間内ニ於テ申立人等ニ適宜配分転貸スルコトヲ承認スルコト。  
 一、小作料ハ毎年度其ノ年ノ十二月三十一日限り支払フコト。  
 一、貸貸借期限ハ昭和四年六月十日トシ申立人等ハ同日限り土地ヲ返還スルコト但各筆共其ノ水口ニ該ル部分ニシテ反別ノ一割ニ相当スル範圍ニ限り昭和三年十一月三十日迄ニ返還スルコト。  
 一、本件調停費用ハ各当事者ノ自弁トス。

以上

左記

当事者		地目		所在地		地番		反別	
地主	小作人								歩
恩田政七	小野 隆次	田	山田郡毛里田村大字東今泉字鹿島	四五六	三、七〇四				
全	全	全	全	四四五	一、四〇五				
全	小野 豊作	全	全	四四四	三、六一七				
全	瀧川 貞司	全	全	四五八	一、三〇六				
全	全	全	全	三八五	、三二三				
全	全	全	全	甲 四二六	一、一〇八				
全	富岡彌太郎	全	全郡毛里田村大字東今泉字鹿島浦	五二〇	、五〇四				

全	全	全	全	全	全	全
野口浪五郎	全	富岡 圓平	瀧川 素一郎	全	全郡全村大字全宇川西	五三二
全	全	全	全郡全村大字全宇鹿島	全	甲 四一〇	一、四〇四
全	全	全	全	全	一、〇二一	一、三〇五
全	全	全	全	全	三九九	一、六〇〇
全	全	全	全	全	八三二	一、一一〇

第五 諸 争 議

一 大正十四年争議

争議ノ原因

毛里田村小作組合ニ於テハ組合長小野某外組合員百三十九名ヲ以テ大字丸山、只上、東今泉、矢田堀、(外他大字地点在ス)水田三十五町歩ニ対シ大正十三年十二月廿一日組合員協議ノ結果稲作早魃被害ヲ理由トシ地主新井某外三十九名ニ対シ小作料二割五分減ノ要求ヲ為シタリ。

而シテ右要求ニ対シ地主側ハ大正十四年二月二十四日迄ニ回答スベク小作人ニ言明シ置キタリ之レガ為同村大字矢田堀、地主中島某外十七名ハ二月十五日同村大字丸山第六区ノ小作人十一名ニ対シ小作料不完納ノ者ハ耕地ノ返還ヲ為スベシト通告ヲ發

小作争議と小作調停 (三) (川口)

シタルニ依リ争議ヲ惹起セリ。

争議ノ経過

耕地返還ノ通告ヲ受ケタル小作人側ニ於テハ二月十七日指導者坂本某先導ト為リ小作人十名ト同道シテ地主長島某、恩田某ノ地主ヲ訪問シ吾々小作人ノミニ土地ノ返還ヲ迫ルハ差別的行動ナリト詰問的交渉ヲ為シタリ又一方同村小作組合長小野某ハ二月二十四日組合員約三十名ヲ引率シテ地主恩田某方ヲ訪問シ先ニ噴願セル小作料二割五分減ノ採用方ヲ申込ミタル処恩田某ハ之ヲ拒絕シタル為メ小作人側ヨリ進ンテ土地ヲ返還シ小作証書ヲ取戻シタルハ既ニ記シタル処ニシテ小作人側ニ於テハ比較的大地主タル恩田ニ土地ヲ返還セバ他ノ地主ニ於テモ驚愕讓歩スルナラムト予測シタルニ返テ地主側ハ益々結束ヲ固メ小作地全部ノ返還ヲ迫リ来レリ依リテ小作人ハ他ノ小地主ニ対シテハ絶対ニ土地返還ニ応ゼザルノ方法ニ出テタリ。



此所ニ於テ問題ハ益々紛糾シ来リ地主ハ訴訟ノ手續ヲ採ラムト協議ヲ開始セリ、故ニ県小作官ハ長嶋某外二名ノ訴訟ヲ主張セル地主ヲ三月二日県農会事務所ニ招致シ訴訟ヲ廢シ調停方ニ依ルベキヲ説示シ次テ三月七日山田郡役所ニ郡長ヲ訪ヒ一応郡長ノ立場ヨリ調停ヲ為シ解決困難ナルニ於テハ調停法ニ依ラシムヘク協議セリ而シテ郡長ハ前記方針ニ基キ三月十三日地主、小作兩者ノ主腦者ヲ村役場ニ召致シ懇諭ニ努メタル結果一先無条件ヲ以テ郡長ニ調停案ヲ提出ヲ依嘱スルニ至レリ。

四月六日 山田郡長ハ毛里田村役場ニ至リ地主、小作ノ主腦者ヲ召集シ調停案ヲ示セリ。即チ「小作料ノ未納分ハ之レヲ大正十三年、十四年、十五年ノ三ヶ年度ニ分納シ土地返還ニ就テハ小作組合ハ之レニ関与セズ地主、小作兩者間ニ於テ協議ノ上地主カ實際自作スルモノニ限り返地スルモノトス」トノ案ニシテ地主側ハ之レニ対シ略承認ヲ与ヘタルモ小作者側ハ容易ニ之レニ応セズ論議數時間ニ及ビ遂ニ該案ニ修正ヲ加ヘ「未納小作料ハ大正十四年ヨリ三ヶ年ニ分チ納付スルコトトシ耕地ハ本年ヨリ二年後ニ於テ實際ニ地主カ家庭ノ事情ニ依リ自作スルノ必要ヲ認メタルモノハ返還スヘシ」ト為シ茲ニ兩者ノ同意ヲ得ルニ至リタルヲ以テ調停成立シ左記覚書ヲ作製セリ然レドモ地主恩田某ニ対スル分ハ此ノ際ハ別問題ト成リ居リテ特殊ノ経過ヲ為セルコト既ニ既述ノ如シ。

## 覚書

山田郡毛里田村大字矢田堀地主ト同村大字東今泉小作者間トノ間ニ大正十三年度小作米輕減問題ニツキ紛争ヲ惹起シ係争中ノ処大正十四年度三月十三日兩者ノ代表毛里田村役場ニ參集シ問題ノ調停方ヲ無料条件ニテ郡農會長(山田郡長)ニ委任シタリ次テ四月六日再セ毛里田村役場ニ於テ兩者ノ代表ノ会合ヲ開キ郡農會長ヨリ左ノ記調停案ヲ指示シ兩者ノ互讓ヲ斡旋シタルニ同案ヲ快諾シ茲ニ調停ノ成立ヲ見ルニ至レリ以上調停ノ成立ヲ遂ケタル上ハ兩者互ニ約束ヲ確守シ違背セザルヘク後日ノ為覚書如件

本覚書ハ四通ヲ認メ 郡農會、村役場、地主、小作兩者ニ於テ各一通ヲ保管スルモノトス

## 記

## 調停条件

一、大正十三年度未納小作米ハ大正十四、十五、十六年ノ三ヶ年間ニ分納スルコト

二、地主ニ於テ家庭ノ事情上真ニ自作ヲ要スル場合ハ其ノ請求ニ依リ二年後即大正十六年春季彼岸迄ニ土地ヲ返還スルコト

大正十四年四月八日

## 調停者

山田郡農會長

関口義慶一

山田郡農會技師

岡田和郎

## 立合人

毛里田村長

鈴木貞次郎

㊦

地主惣代

恩田彦市

㊦

全

鈴木悦三

㊦

全

長島久太郎

㊦

全

山口延次郎

㊦

全

長島熊治

㊦

小作人惣代

小野隆治

㊦

全

坂本利郷

㊦

全

江原友蔵

㊦

全

小池重三郎

㊦

全

鹿山邦男

㊦

二 大正十五年争議

(一) 古氷争議

争議ノ原因

毛里田村大字矢田堀、地主恩田某ハ毎年ノ小作争議ニ恐怖シ土地ヲ漸次売却セムトシ同村大字古氷字置田ノ田地一反三畝歩ヲ本年三月同村大字丸山田村某ニ(小作人)ニ売却シタルニ現ニ其ノ土地ヲ小作スル同村大字古氷、村岡某ハ猶繼續小作ヲ主張シ新地主タル田村某ハ之レヲ自作セムトシテ準備ヲ為シ何レモ譲歩セス遂ニ争議ト為レリ。

争議ノ経過

五月十二日現小作者村岡某ハ該田地ニ苗代ヲ為シ尚本田肥料ヲ

小作争議と小作調停(三)(川口)

搬出シ耕作ヲ繼續シ毛里田村小作組合ハ之レヲ援助シ土地引渡ヲ拒絶シタルヲ以テ田村某ハ自作ヲ為サムト調停ヲ申立タリ依ツテ五月二十九日新田区裁判所ニ於テ調停委員会ヲ開催シ左記条項ヲ以テ解決ヲ遂ゲタリ。

結 末

調停条項

一、相手方村岡定吉ニ於テ恩田政七所有ノ山田郡毛里田村大字古氷字置田、百四十九番、田一反三畝二歩ノ土地ヲ所有者政七ニ於テ大正十五年二月十日申立人田村常吉ト売買ニ因リ其ノ所有權ヲ移転シタルコトヲ承認ス

一、申立人常吉ハ右所有田地一反三畝二歩ヲ中睦ヲ境界ト為シ水口ノ存在セザル側ヲ申立人ニ於テ所有權ヲ取得シタル當時ヨリ大正十六年二月二十日迄ヲ期間トシ其ノ間ノ賃料検査合格玄米一俵二斗二升(一俵四斗入)ヲ以テ相手方定吉ニ賃貸スルコトヲ承諾ス。

一、相手方定吉ハ前項賃料ヲ大正十五年十二月二十五日限り申立人常吉方ニ持参シ支払フヘキコトヲ約ス。

一、右賃料ノ支払ヲ怠リタル時ハ直チニ強制執行ヲ受クルモ異儀ナキコトヲ承諾ス。

一、申立人常吉ニ於テ右賃料ノ支払ヲ受ケタル時ハ従来ノ奨励米及俵装料ヲ相手方ニ支払フ可キ事ヲ約ス。

一、本件調停ニ関スル費用ハ各自弁タルコト。

## (一) 丸山争議

## 争議ノ原因

毛里田村大字丸山地主青木某ハ大正十一年二月其ノ所有地タル同村大字丸山字宮ノ上二百七十九番田二反一畝四歩ノ土地ヲ期間一ヶ年ノ契約ヲ以テ同村小作者小林某ニ貸付ケ耕作セシメ大正十二年二月ニ至リ契約期間満了セルモ家庭ノ都合上尚之ヲ其ノ儘小作セシメツツアリシニ小作者ハ契約小作料八俵ニ対シ大正十三年度ハ二俵、十四年度ハ一俵三斗二升ノ未納ヲ為シタルヲ以テ地主ハ未納米ヲ請求シ併セテ土地返還ノ催告ヲ為シタルモ小作者ハ該地主ニ対シテハ特別ノ縁故ヲ有シ多年同家雇人トシテ働キ居リタル事アル關係上永久ニ小作セシムルノ口約アリタリト称シ之レニ応セス争議ト為リタルモノナリ。

## 争議ノ経過

地主ハ大正十四年二月未納小作米請求ト土地返還ノ要求ヲ為シタルニ小作組合幹部之レガ調停ヲ為シ尚一ヶ年ヲ限り継続小作セシムルコトト為セリ。

而シテ大正十五年二月十日ニ至リ契約期間満了セルヲ以テ地主ハ再ビ土地返還ヲ請求シ苗代準備ヲ為シ尚争地ニ対シ肥料ヲ搬出シ自作セムトシタルニ小作者ハ該肥料ヲ圃場外ニ除去シタルヲ以テ地主ハ之レニ對抗シ小作組合ハ小作者ヲ後援シテ兩者相反目スルニ至リタルヲ以テ地主ハ小作調停法ニ依リ五月七日調停ノ申立ヲ為セリ依リテ新田区裁判所ニ於テ調停委員會ヲ開クコトニ回調停頗ル困難ニ陥リ地主ハ解決ノ見込ナキモノトシ

前橋地方裁判所へ延滞小作料並土地返還請求ノ民事訴訟ヲ提起スルニ至リタルモ遂ニ六月十三日調停成立シ円満ナル解決ヲ遂ゲアリ。

## 結 末

## 調停条項

一、申立人青木信次郎ハ其ノ所有ニ係ル山田郡毛里田村大字丸山字宮ノ上二百七十九番田二反一畝四歩ヲ被申立人小林甚平ニ一ヶ年ノ賃料玄米六俵二斗八升ノ定メヲ以テ今後引続キ大正十七年二月二十五日迄賃貸スルコトヲ約ス。

一、右賃料ハ毎年十二月廿五日限り賃借人甚平ハ賃貸人信次郎ニ之ヲ支払フヘキモノトス。

一、賃借人甚平ノ賃貸人信次郎ニ対スル大正十三年度及大正十四年度ノ延滞賃料ハ此両年度ヲ通シ内二斗四升ヲ除キタル以外ハ総テ賃貸人信次郎ニ於テ請求ヲ為ザサルコトヲ約ス。右延滞賃料玄米二斗四升ニ付テハ賃借人甚平ハ之ヲ二ヶ年ニ分割シ毎年一斗二升宛ヲ大正十五年及大正十六年各十二月二十五日前項新ニ定メタル賃料ト共ニ之ヲ賃貸人信次郎ニ支払フコトヲ約ス。

一、被申立人甚平ハ申立人信次郎ニ対シ如何ナル事由ヲ問ハス信次郎ノ同意ヲ得ル事能ハズシテ小作料ノ減額又ハ免除ヲ主張セントスルニハ左ノ手續ヲ終ル事ヲ要ス。

被申立人甚平ハ毎年十月中ニ県小作官へ小作料ノ減額又ハ免除ヲ申出テ本件調停委員タリシ者ノ評議決定ヲ請求シ県

小作官ハ直ニ右委員ヲ招集シ其ノ評決ヲ為サシム。

右委員ハ檢見ヲ必要ナリト認メタル時ハ之ヲ遂ケ減額又ハ免除ノ事由ノ有無若シ減額ノ事由アリトセバ其ノ額ヲ定ム為メ評議決定ス。

調停委員タリシ者止ムヲ得ザル事故アリ評議ニ加フル事能ハザル場合ハ県小作官ニ於テ其ノ補充者ノ必要アリト認メタルトキハ之ヲ選任ヲ県小作官ニ委託ス当事者双方ハ右委員ノ評決ニ服従スルモノトス。

右手続ノ費用ハ被申立人甚平ニ於テ之ヲ予納シ其負担者ニ付テハ右委員ニ於テ之ヲ決定ス。

一、被申立人甚平ハ毎年十月中前項県小作官ニ申出テ委員ノ評決ヲ得ルニ非ラザレバ約定小作料ノ支払ヲ為ス義務ヲ負フモノトス。

一、被申立人甚平ハ誠実ニ其義務ヲ履行スベキ事ヲ誓約シ若シ右契約小作料及未納小作料二斗四升ノ支払ヲ怠リタルトキハ貸借契約ハ当然解除セラレ賃借地ヲ直チニ賃貸人信次郎ニ返還スベキコトヲ確約ス。

一、賃料ノ支払及土地返還ノ義務ニ付キ不履行ノ場合ニ於テ直チニ強制執行ヲ受クルモ被申立人甚平ニ於テ異儀ナキコトヲ特約ス。

一、申立人信次郎ハ被申立人甚平カ誠実ニ其ノ義務ヲ履行シ誠実ヲ認メタル場合ニ於テ申立人ノ都合ニ因リ二年後ニ於テ引続き被申立人ニ小作ヲ為サシムルコトアルヘシ 但如何

ナル場合ト雖モ被申立人甚平ヨリ其請求ヲ為ス權利ナキモノトス。

一、右延滞小作料ノ支払及本件土地ノ返還ニ付申立人ヨリ被申立人ニ対シ前橋地方裁判所ニ提起シタル大正十五年(ワ)第六四号民事訴訟事件ハ直チニ之ヲ取下クルコト。

以上

### (三) 只上争議

#### 争議ノ原因

毛里田村大字只上地主須藤某ハ大正十年十月同村小作者菊池某和田某ニ毛里田村大字只上字矢部二百五十番畑一反六畝歩ヲ貸付小作証書ニハ期限ノ定メナキモ菊池某ハ借受ケ當時ノ桑園ニ捕植ヲ為シ和田某ハ借受當時ハ普通畑ナリシモ自ラ桑園トナシ何レモ其ノ際口頭ヲ以テ十ヶ年ノ契約ヲ為セリト称セリ然ルニ地主ハ之ヲ認メス家族ノ増加セル為自作セムトシテ土地返還ノ要求ヲナセリ。

#### 争議ノ經過概要

地主ハ期限ノ定メ無キヲ以テ大正十五年六月三十日限り土地ヲ引上ケ自作ヲ為サムトシテ三月十日以後再三其ノ請求ヲ為シタルニ依リ小作者側ハ毛里田村長、鈴木貞次郎ニ依頼シテ其ノ調停ヲ求メタルモ解決スルニ至ラズ毛里田村小作組合ハ小作者側ヲ援助シテ争議ハ益々熾烈トナリタルヲ以テ小作者兩名ハ五月七日小作調停法ニ依リ調停ノ申立ヲ為シタルヲ以テ新田区裁判

所ニ於テ調停委員会ヲ開クコト一回調停成立セリ。  
結 末

## 調停事項

一、申立人菊池文次郎ハ被申立人須藤兵作ヨリ現ニ賃借中ノ桑園山田郡毛里田村大字只上字矢部二百五十番畑八畝十五歩ヲ猶引続キ従来ノ賃料一ヶ年小麦一石二斗ヲ以テ大正十八年九月三十日迄賃貸スルコトヲ約ス

一、申立人文次郎ハ右期間満了ト共ニ同賃借地ヲ有形ノ儘被申立人兵作ニ返還スベキモノトス。

一、第一項賃料小麦一石二斗ハ毎年六月三十日限り之ヲ申立人文次郎ハ被申立人兵作ニ支払フコトヲ約ス。

一、申立人和田幸七ハ被申立人須藤兵作ヨリ現ニ賃借シ桑園ト為シタル山田郡毛里田村大字只上字矢部三百二十七番畑七畝十五歩ヲ今後引続キ従来ノ賃料一ヶ年小麦九斗ヲ以テ大正十九年六月三十日迄賃貸借スルコトヲ約ス。

一、申立人幸七ハ右期間満了ト共ニ同賃借地ヲ桑園ノ儘被申立人兵作ニ返還スベキモノトス。

一、右賃料小麦九斗ハ毎年六月三十日限り申立人幸七ハ被申立人兵作ニ支払フコト。

## (四) 東今泉争議

## 争議ノ原因

本争議ノ原因ハ地主岩崎某ノ父が大正十一年二月十日死亡シ其

ノ遺族ハ女子ノミニシテ加フルニ幼少ナル為自作シ得ザルニ依リ岩崎某親権者ハ遺族ノ成長シ自作ヲ為シ得ル迄其ノ所有地毛里田村大字東今泉田一反六畝十五歩畑四畝十九歩合計二反一畝四歩小作人林某、荒木某、ノ兩人ニ其ノ期限ヲ大正十五年十二月三十日迄トシテ賃貸シタリ而シテ地主親権者岩崎某ハ昨年十二月三十日ヲ以テ小作契約期間ハ滿了セルニ依リ土地返還方ヲ再三請求シタルモ小作人ハ之レニ応セザル為争議トナレリ。

## 争議ノ經過

地主岩崎某ハ相当成長シ自作ノ必要ヲ認ムルト既ニ契約期間モ經過セルモノナレバ土地返還方ヲ交渉セルニ小作人等ハ到底之ニ応スル見込ナク之ヲ聞知シタル同村小作組合ノ前組合長タリシ飯塚某ハ昨年十二月上旬調停ニ入り折衝ノ結果小作契約ヲ尚一ヶ年継続スルコトニテ納得セシメタリ。

然ルニ之レカ契約証書作製ニ当リ地主側ヨリ証書ハ役場ニテ村長立会ノ下ニ作製セラレタシト申立タルニ依リ調停者ハ此ノ旨小作人ニ伝達セルニ小作人等ハ既ニ地主ニ於テモ承認シタルモノナレバ斯ノ如キ必要ナシト反対セリ尚一面ニ於テ調停者タル飯塚某ハ現小作組合長タル小野某トの間ニ意志ノ疎通ヲ欠キ幾ニ組合ヲ晚会シタル等ノ關係アリテ小作人等ハ悪感ヲ懷キ居ル事情アリテ此ノ調停ヲ希望セス地主ハ斯クテハ将来生活ニ差支ヲ生スルモノナリト称シ昭和二年一月十四日土地返還ノ調停申立人ナシタリ然ルニ其ノ後両者間ニ於テ折衝ヲ重ねタル結果左記条項ニテ示談成立シ昭和二年二月二十八日調停ノ申下ヲ取下

ゲ解決セリ。  
結 末

### 和解条項

一、小作人林安五郎、荒木忠五郎等ハ地主岩崎ハナニ対シ關係小作地田一反六畝十五歩ヲ昭和二年三月一日限り返還スルコトヲ承認ス。  
一、地主岩崎ハナハ小作人等ニ關係小作畑四畝十九歩ヲ従前通り契約ニテ本年度ヨリ更ニ三ヶ年間貸貸スルコトヲ承諾ス。

### 三 昭和二年争議

#### (一) 東今泉小作組合員ノ脱退派トノ争議

#### 争議ノ原因

本争議ハ小作組合員ト其ノ組合脱退派トノ争議ニシテ其ノ原因ハ毛里田村大字東今泉曹源寺ハ畑一町五反二畝歩田六段一畝二十歩ヲ所有シ従来畑ハ脱退派ナル同村飯塚某外十七名ガ小作シ田ハ同村瀧川某外三名ガ小作シ居リ外ニ同村々々鹿島神社所有地田三段歩ニ付キテモ等シク小作組合脱退派タル飯塚某ガ大部分小作シ居ル關係上日本小作人総同盟毛里田小作人組合員十五名ハ之レニ不満ヲ抱キ前記寺院及村社有地全部ヲ組合ガ一手ニ借受ケ組合管理トナシ組合員ニ適當ニ配分シテ小作セシメムトシ鹿島神社氏子惣代柳田某及曹源寺住職ニ交渉シタル処両者共稍了解シタルモ前記飯塚某外七名ガ異儀ヲ唱ヘ争議トナレリ。

小作争議と小作調停 (三) (山口)

#### 争議ノ経過

二月二十六日午後三時ヨリ村社鹿島神社ニ於テ毛里田村小作組合東今泉支部總會ヲ開キ組合長小野某外三十七名出席シ鹿島神社氏子惣代及曹源寺住職ニ懇談シ若シ小作組合脱退派飯塚某等反対スルニ於テハ飽ク迄對抗シ目的ノ貫徹ヲ計ルベク決議シ午後六時散会シ氏子総代及住職ニ対シ運動中ナリシガ同村大字東今泉区長柳田某外一名ガ調停ニ奔走セル結果五月二十日左記条項ニ依リ円満解決セリ。

#### 結 末

#### 解決条項

一、曹源寺所有畑地総反別一町五反二畝歩ノ内小作組合脱退派飯塚柳司外八名ニ於テ九反二畝二十二歩ヲ耕作シ来リタルガ此ノ脱退派中飯塚柳司ハ最も多ク小作シ居ル關係上二反四畝歩其他脱退者ノ荒木常次郎ヨリ一反一畝歩荒木利三郎ヨリ三畝歩計三反八畝歩ヲ小作組合員側へ譲リテ小作セシムルコト。

一、鹿島神社土地中脱退派梅澤貞次郎ノ耕作シ居ル田一反七畝歩ニ就テハ中介者ノ小暮金四郎カ之レニ相当スル土地ヲ替地トシテ耕作セシメ貞次郎ハ該土地ヲ小作人組合へ小作ヲ讓ルコト。

一、鹿島神社土地中脱退派ノ荒木勝近ノ耕作シ居ル田一反歩ハ本年一ヶ年荒木勝近ニ於テ耕作シ明年ヨリ小作組合側ノ富岡次平ニ小作ヲ讓ルコト而シテ明年之レカ実行ノ上ハ荒木

勝近ニ対シテハ小作組合側ノ澗川要助ニ於テ之レニ相当スル土地ヲ貸与スルコト。

一、以上ノ土地ヲ小作組合ハ適當ニ組合員ニ分配スルコト。

## (二) 水路敷地借地料争議

争議ノ原因

本争議ハ水路敷地借地料ニ関スル問題ニシテ日本小作人総同盟支部毛里田村小作組合員タル小作人鈴木某ハ大正十二年毛里田村大字只上所在ノ自己所有畑ヲ開墾シテ田ト為シ之カ用水ヲ引ク為メ隣地、田ノ内ノ一坪七合五勺ヲ地主河田某ヨリ借受ケ用水路ヲ開墾シ之カ借地料ヲ玄米三斗ト契約セルモノナリ然ルニ今日之ヲ見レハ借地料高キニ失スルヲ以テ之ヲ相当額ニ引下ゲムト昭和二年五月五日地主ニ対シ要求セルニ現地主ハ該契約ハ前地主ニ於テ契約セルモノニテ既ニ貸付期間ハ大正十四年ヲ以テ満了セルト小作者ノ用水管理上怠慢ナルトヲ理由トシ昭和二年度ヨリ貸付ヲ為サスト主張シ要求ヲ入レズ小作者ハ該用水路ヲ失フニ於テハ他ニ用水ヲ引用スベキ途ナシ、故ニ繼續借地スルト共ニ借地料ヲ減額スヘキモノナリト主張セリ。

争議ノ経過概要

争議發生以來日本小作人総同盟會長坂本某ガ調停ヲ試ミタルモ成立セズ次テ毛里田村長中島小治郎調停ヲ為シタルモ解決セズ遂ニ小作人ヨリ調停法ニ依ル申立ヲ為シタル為メ六月二日新田区裁判所ニ於テ調停委員会ヲ開キ左記条項ニ依リ調停成立ヲナ

セリ。

結 末

解決条項

一、被申立人ハ其所有ノ山田郡毛里田村大字只上字向矢部甲五百五十五番田一反十九歩ノ内、現ニ申立人所有ノ水田ノ為メニスル引水路敷地ト為シ在ル部分ハ現場ノ儘申立人ニ対シ引キ続キ貸貸スルコトヲ承認ス

右賃料ハ被申立人ニ於テ昭和二年ヨリ一ヶ年玄米一斗五升ニ減額スルコトヲ承諾シ同賃料ハ毎年十二月二十五日限り申立人ヨリ被申立人ニ支払フヘキコト。

一、申立人ヨリ被申立人ニ支払フヘキ大正十五年度延滞賃料玄米三斗ハ之レヲ二分シ其ノ一斗五升ハ昭和二年十二月二十五日限り残りノ一斗五升ハ昭和三年十二月二十五日限り之レヲ被申立人ニ支払フヘキコトヲ約ス。

## 四 昭和三年争議

### (一) 丸山争議

争議ノ原因

係争地タル毛里田村大字丸山字宮ノ上二百七十九番田二反一畝四歩ハ大正十五年(小調)第三号調停条項ニ依リ大字丸山地主青木某ヨリ日本小作人総同盟支部毛里田村小作組合員タル小作人小林某ニ大正十七年(昭和三年)二月二十五日迄貸貸スルコ

ト、ナリヲルモノニシテ地主ハ期限ノ滿了シタル昭和三年二月二十五日内容証明郵便ヲ以テ契約期間滿了セルニ依リ昭和三年度ハ地主ニ於テ自作スル旨ノ通告ヲナシタリ之ニ對シ小作人ハ前年ノ調停ノ際期間ハ之レヲ定メタルモ小作人ニ於テ小作料ヲ満足ニ納付スルニ於テハ期限後モ契約ヲ繼續シ得ル考ヘテ以テ約束ヲナシタルモノナレバ返地ノ必要ナシト回答シ争議トナレリ。

#### 争議ノ經過概要

其ノ後小作人組合ノ支部長兩者ノ間ニ入り地主ニ對シ更ニ一、二ヶ年ノ貸貸ヲ要求シタルモ地主ハ大正十五年ノ調停事件ノ際既ニ返還セシムベキ決心ヲ以テ訴訟迄モ提起シ相当費用ヲ要シタルニ小作人カ調停ノ申立ヲナシ調停委員会ノ懇切ナル調停ヲ受ケタル為メ意外ノ讓歩ヲナシ二ヶ年貸貸シタルモノナレバ今後ハ絶對ニ貸貸スルコト能ハズト主張シ尚本件土地以外ノ田七畝歩ヲ代地トシテ貸貸スル旨ヲ申出タルモ小作人ニ於テハ斯カル小面積ノ土地ニテハ応ズル能ハズト主張シ支部長ノ調停モ不調トナレリ、而シテ地主ハ三月二十六日突然土地引渡ノ強制執行ヲ為シタルニ依リ小作人ハ尚耕作ヲ繼續セムトシテ四月六日小作調停ノ申立ヲ為シタリ。

#### 結 末

##### 解決条項

依リテ五月三十日新田区裁判所ニ調停委員会ヲ開キ兩者ノ実情ヲ聴取セルニ小作人ハ現在耕作反別少ク小作農ト謂フヨリハ率

小作争議と小作調停 (二二) (川口)

口農業労働者トシテ生活シ居ル状態ニアリ而シテ地主ハ養蚕農事其他ニハ多クノ労働ヲ他ニ求ムル状態ニアルニヨリ調停委員会ハ極力兩者ノ感情融和ヲ計リ地主ニ於テ今後ハ小作人ヲ出来得ル限り貸銀労働者ニ雇フコトヲ奨メ地主モ之レヲ承諾シ尚現在作付アル大麦ハ小作人ニ刈取ラシムルコトハ勿論小作者カ既ニ係争地ニ搬入セル肥料モ地主ニ於テ相当価格ニテ購入スル事等条件トシテ土地ノ返還ヲ承諾スルコトニ調停委員会ノ席上ニテ妥協成リ地主、小作、協議ノ上小作人ヨリ申立ヲ取り下ゲ争議ハ円満解決スルニ至レリ。

#### (二) 吉澤争議

##### 争議ノ原因

係争地毛里田村大字吉澤田一反六畝八歩ハ大正十五年(小調)第八号小作調停事件ノ調停条項ニヨリ大正十八年二月二十五日迄地主川田某(女)ヨリ小作人日本小作人総同盟支部毛里田村小作組合員タル小林某ニ貸貸スルコトニ決定シ居レルモノナリ、而シテ本争議ノ原因ハ前記調停事件解決ノ際大正十四年ノ延滞小作料一斗六升ハ之レヲ二等分シテ大正十五年及十六年(昭和二年)ノ各十二月二十五日限り其ノ年ノ小作料ト合セテ八升宛ヲ納入スルコトニ決定セラレタルモノヲ小作人ハ昭和二年度小作料納入ノ際係争地面積減少ヲ理由トシテ小作料ノ減額ヲ要求シ分納小作料ノ納入ヲナサス尚昭和二年度ノ小作料一部ヲモ滞納シ地主ヨリ調停条項ニヨリ土地引渡ノ強制執行ヲ受ケタルニ



因り争議トナルニ至レリ。  
争議ノ經過

小作人小林某ハ昭和二年度分小作料納入ノ際係争土地カ昭和二年ニ於テ大字ノ道路拡張ノ為メ凡ソ五坪位埋没セラレ耕地ノ面積縮小セルヲ理由トシ小作料減額ヲ要求シ契約小作料四俵四升及滞納小作料ノ昭和二年度分ニ納入スベキ分八升ノ中、四俵ヲ納入シタリ、其ノ際地主川田某(妻)ハ夫ノ不在ノ為メ減額ノ要求ニ関シテハ自ら責任アル回答ヲナシ得スト主張シ小作人モ之レヲ承諾シ未納小作料ハ減額量決定ノ上之レヲ支払フコトヲ約シタリ。

然ルニ川田某(夫)ハ本件土地ハ従来小作人ニ於テ土地台帳ノ面積以上ニ拡張シテ小作シ居リタルモノナレバ道路拡張ニヨル埋没ノ為メニ契約面積ハ毫モ縮小セズ故ニ小作料減額ノ必要ナシト主張シ妻ヲシテ未納小作料ヲ督促セシメタリ。

小作人ハ右未納小作料ノ督促ニ対シ川田某ノ妻ト協議ノ上俄裝料奨励米等ヲ差引クトキハ僅カノ端米トナルニヨリ昭和三年度ノ小作料ト共ニ納入セルコトヲ約セリ。

然ルニ川田某(夫)ハ五月五日突然土地引渡ノ強制執行ヲナシ係争地ノ隣地ニ苗代準備ヲ開始シ係争地ニハ小作人ガ大麦ヲ作付アルニ其ノ一部分ヲ水路トシテ苗代ニ灌漑シ大麦ノ生育ニ障害シ居ルヨリ小作人ハ地主ノ暴挙ニ対シ黙スル能ハス五月十五日小作調停ノ申立ヲ為セリ。

依ツテ五月三十日新田区裁判所ニ調停委員会ヲ開催シ地主ノ不

穩ナル態度ヲ誠メ極力前年ノ調停条項ニヨル契約期間満了マデ貸貸スベキコトヲ促セルモ地主ハ頑強ニシテ一步モ譲歩セス遂ニ小作人モ調停委員会ノ誠意ヲ以テセラルル調停ニモ応ゼサル頑強ナル地主ナレバ此ノ上争議ヲ統クルモ自己ニ有利ナル解決ハ得ラレザルモノト断念シ總テヲ調停委員会ニ依頼シタリ。

結 末

#### 解決条項

而シテ滞納小作料ハ地主ニ於テ免除シ大麦ハ小作人ニ收穫セシムルコトヲ地主ハ承諾シ小作人ヨリ調停ノ申立ヲ取下ゲ争議終息セリ。

#### 第六 立毛検見ノ実行

大正十年不作ヲ理由トシ本村内一斉ニ小作料減額要求ノ争議発生セルニ際シ村農会ニ決テハ各大字区長十一名ト共ニ不作ノ程度ヲ調査スベク各大字毎ニ作柄中庸地三ヶ所乃至四ヶ所ニ亘リ立毛坪刈調査ヲ行ヒタルニ其ノ後モ小作問題発生セルニ鑑ミ各大字毎ニ適確ナル平年作ヲ認メンカ為前年ノ調査ヲ継続シ水稻普通作ノ坪刈調査ヲ為スベク農会総代ヲ検見委員トナシ同村農会技術員及勸業主任書記ト共ニ各大字毎ニ收穫中庸ノ左ニ大正十年以来今日ニ至ル迄ノ状況ヲ表示スベシ。

## 村農会坪刈ニ依ル反当收穫高

平均各区	十区	十区	九区	八区	七区	六区	五区	四区	三区	二区	一区	区別
	只上ノ内原宿	吉澤ノ内反丸、唐澤	丸山、吉澤ノ内七日市	吉澤ノ内落内、萩原	矢田堀	古水ノ全部太田、丸山、吉澤ノ内一部	東今泉	富若	市場	只上	只上	区域
	一八、四五〇	二六、三四九	二〇、七〇〇	二五、七五〇	一九、九四九	一七、二四九	一九、一九七	一九、九四九	一六、七九九	二二、三四七	二四、九七五	大正十年
	一九、二四七	二四、四八八	二四、五〇〇	二七、五〇〇	二四、九五〇	二二、九五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、五〇〇	二五、二五〇	大正十一年
	二一、四〇〇	一九、四五〇	二四、五〇〇	二〇、一五〇	一九、九〇〇	二〇、八五〇	一九、八五〇	二〇、六〇〇	二二、六二五	二二、九二〇	二四、二五〇	大正十二年
	二二、二三四	二二、二三四	二一、九九九	二四、〇五〇	二〇、六〇〇	二二、九五〇	二〇、四〇〇	二一、二〇〇	二二、八六三	二二、四一三	二四、三五〇	大正十三年
	二〇、五〇六	二二、二五〇	二二、三五〇	二一、九〇〇	二〇、八〇〇	二一、一五〇	二〇、八五〇	一九、一五〇	一九、三五〇	二二、五六三	二二、九〇〇	大正十四年
	二二、五八二	二二、九〇〇	二二、八〇〇	二四、〇〇〇	二二、八五〇	二二、二〇〇	二〇、〇〇〇	二一、〇〇〇	二〇、一〇〇	二二、四一三	二四、四〇〇	大正十五年
	二五、七三四	二五、六〇〇	二五、〇五〇	二五、七〇〇	二七、八〇〇	二五、三五〇	二五、三五〇	二五、七五〇	二二、四〇〇	二二、七七五	三〇、五〇〇	昭和二年
	二二、三三二	二二、六〇〇	二二、二九二	二二、四五〇	二二、二六四	二〇、九五七	二二、二七一	二二、四一四	二二、〇五五	二二、四一九	二五、〇八九	計

## 第七 協調団体

## 一 農事組合設立

本村ニ於ケル地主、小作人ノ協調団体ノ設立ハ大正六年頃同村吉澤字落内ニ肥料ノ共同購入ヲ目的トシ組合員十数名ヲ以テ落内肥料配合組合ヲ設立シ次テ大正十年本県農會ニ於テ水稻多収穫品評會ノ開催セルヤ同村大字太田字諏訪ノ入ヨリ之レニ出品アリ村農會技術員専ラ之カ指導ニ当リタルニ肥料協同購入並協同配合ノ必要ヲ感シ組合員十三名ヲ以テ諏訪ノ入肥料配合組合ノ設立スルヲ見タリ。

而シテ大正七、八年頃ヨリ県下各地ニ小作争議ノ勃発ヲ見ルニ至リ之レガ未然防止ノ為県当局ハ地主、小作人間ノ協調融和ヲ図ルヘキ機關ノ設立ヲ奨励シ大正十一年二月県令ヲ以テ農事組合奨励規定ヲ設ケ積極的ニ之カ設立ヲ奨励シ同時ニ県告示ヲ以テ農事組合規約準則ヲ公示セルニ時恰モ本村ニ於テハ大正十年並十一年争議ノ前後ニアリ各当事者ハ小作争議ノ未然防止ノ好機關ナリトシ一時ニ設立ノ氣運ニ至リ大正十一年十一月諏訪ノ入肥料配合組合ハ県奨励ノ規程ニ則リ規約ヲ改正シ改メテ組合員三十二名ヲ以テ諏訪ノ入農事組合ヲ設立スルヤ次テ翌十二年一月ニハ大字矢田堀ヲ区域トシ組合員五十九名ヲ以テ矢田堀農事組合ノ設立ヲ見更ニ同年二月大字只上ノ一部ヲ区域トシ十六名ノ組合員ヲ以テ下只上農事組合ヲ設立シ尚三月ニハ大字丸

山ヲ区域トシ組合員三十七名ニ依リ丸山農事組合大字富若ヲ区域トシ五十九名ノ組合員ヲ以テ富若農事組合同時ニ設立セリ。而シテ大正十三年二月ニハ落内肥料配合組合ハ之ヲ解散シ県奨励規程ニ則リ落内農事組合ヲ設立シタリ。

斯ク本村九大字中一大字以上ヲ区域トセル組合五、一大字以下ヲ区域トセルモノ一、即チ六組合ノ設立ヲ見タリ。

之等組合カ前記ノ如ク時ヲ相前後シテ一時ニ設立セラレタルハ何レモ小作争議ニ対スル緩和策ナリシト雖モ一面ヨリ之ヲ見レバ小作者ノ団体的行動ニ対スル反発的行動ナリトモ思惟セラレヘシ各組合規約ハ組合毎ニ多少ノ相違アルモ多クハ県告示ノ規約準則ニ依ルモノナレハ左ニ諏訪ノ入農事組合規約ヲ挙グベシ。

## 諏訪ノ入農事組合規約

第一条 本組合ハ山田郡毛里田村大字太田古水（全部）吉澤、丸山、今泉ノ各一部ヲ以テ区域トシ当該区域内ニ於ケル耕地ニ付、地主、自作農、小作農タルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第二条 本組合ハ諏訪ノ入農事組合ト称シ事務所ヲ毛里田村大字太田三百九十九番地ニ置ク

第三条 本組合ハ組合員ノ融和親善ヲ図リ且ツ農事ノ改良発達ニ努メ相協力シ其ノ福利ヲ増進スヘキ事項左ノ如シ

## 一、組合員ノ融和親善ヲ図ルノ事項

親睦會、講演會、視察旅行、旌表、共濟事業、共同

娛樂ノ施設、小作農ニ土地ヲ所有セシムルノ方法、自作農ノ土地喪失ヲ防止スルノ方法、奨励米交付ノ勵行、小作料又ハ奨励米其ノ他ニ関シ紛議ヲ生ジタルトキハ之カ円滿解決ニ努ムルコト

二、農事改良上重要事項

食料農産物ノ栽培改善、採取圃ノ經營、肥料ノ改良増殖、用排水路農道ノ整備維持、改良農具ノ使用、果樹蔬菜ノ改良増殖、樹苗圃ノ經營、森林ノ保護、家畜家禽ノ改良増殖、副業品ノ共同生産、共同購入、共同販売、品評会、実地指導

三、民力ノ作興自治ノ向上、其ノ他公益上必要ナル事項

四、其ノ他組合ノ目的ヲ達スルニ必要ト認ムル事項

第五条 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長一名、副組合長一名、実行委員若干名、幹事若干名

第六条 組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス

副組合長ハ組合長ヲ補助シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ組合長ノ命ヲ受ケテ庶務ニ従事ス

第七条 組合長、副組合長及実行委員ハ組合員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉ス

実行委員ハ自作農ヨリ若干、地主及小作農ヨリ各同數ヲ選舉ス

小作争議と小作調停 (三) (川口)

幹事ハ組合長之ヲ囑託ス

第八条 會議ハ通常總會、臨時總會、実行委員会ノ三種トス

通常總會ハ春秋二回之ヲ開キ規約ノ変更、經費収支

予算並會費徵收方法事業計画其ノ他重要事項ヲ決議シ収支決算ノ認定ヲナス

第十条 臨時總會ハ組合長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ組合員三分ノ一以上ノ同意ヲ以テ請求シタルトキ之ヲ開ク

実行委員会ハ組合長ノ必要ト認メタルトキ之ヲ開クノ外左記事項ヲ決議ス

第十一条

總會ニ提出スヘキ議案ノ審議

組合員間ノ紛議解決ニ関スル事項

總會ニ於テ委任セラレタル事項

組合ノ事業方針ニ関スル事項

組合ノ事業執行ニ関スル狀況監督ニ関スル事項

會議ノ議長ハ組合長之ニ當リ組合長事故アルトキハ

第十二条

第六條ヲ準用ス

第十三条

決議ハ出席ノ半数以上ノ同意ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十四条

會議ノ頭末ハ記録トシテ保存ス

第十五条

本組合ノ會計年度ハ四月一日ヨリ三月三十一日迄トス

右契約実行ノ証トシテ組合員一同茲ニ署名捺印ス

## 事業

各組合ノ状況ハ其ノ組合ノ方針ニ依リ活動状態ヲ異ニスルヲ以テ左ニ一覽表ヲ掲クルト共ニ就中小作争議ノ多キ区内ニ設立セラレタル諏訪ノ入農事組合ノ大要ヲ左ニ掲クヘシ同区ハ小作組合指導者坂本某ノ居住区ニシテ設立ノ当時ハ小作組合ノ勢力大

## 二 農事組合状況

ニシテ之ト庄糶多カリシモ組合長瀧田某ハ良ク組合員ノ融和ヲ図ルト共ニ其ノ团结ニ努メタルヲ以テ現今ニ於テハ其ノ成績良好ナルニ至レリ

毛里田村農事組合一覽表(昭和三年九月調査)

名称	区域	設立年月日	組合員数			目的	主ナル事業	維持	組合長	
			地主	自作	小作					計
諏訪ノ入農事組合	大字ノ一	一一、一一、一一	六一	一八	二七	五二	融和親善、農事改良、福利増進	親睦会、小作料協定、奨励米交付、肥料共同配合、労力調節、講習講話、視察品評会、貯金共同購入販売、自家用醬油製造、其他	組合費 使用料	深田龍太郎
矢田堀農事組合	大字矢田堀一円	一一、一一、一九	一一	二〇	三〇	六一	全	牛馬奨励、小作料協定、奨励米交付、農道整理、採種、貯金、親睦会、精農表彰、立毛検見、共同購入販売、其他	組合費 使用料	恩田彦市
下只上農事組合	大字只上ノ一部	一一、一一、二八	一七	一〇	四一	六八	全	親睦会、小作料協定、奨励米交付、採種、動用農具ノ共同使用、共同購入販売、自家用醬油製造、農道整理品評会、選種、其他	組合費	板橋三吉
丸山農事組合	大字丸山一円	一一、一一、二八	一一	一一	二二	二二	全	親睦会、小作料協定、奨励米交付、採種、購入販売、自家用醬油製造、農道整理、選種、其他	組合費	鈴木雅

富若農事組合	大字富若 一円	二、三、八	九二一	四〇六〇全	親睦会、小作料協定、奨励米交付、改良農具共同使用、共同購入販売、旋採種農道整理、其他	組合費	江原彦司
落内農事組合	大字吉澤 字落内	一三、二、二九	四一〇	一一二五全	親睦会、小作料協定、奨励米交付、改良農具ノ共同使用、共同購入販売、旋採、採種、選種、肥料共同配合、其他	組合費	小暮千代平

諏訪ノ入農事組合（大正十五年二月二十八日調査）

組合名及組合長	諏訪ノ入農事組合 深田龍三郎
設立沿革	大正十年四月諏訪ノ入肥料組合 大正十一年十一月一日諏訪ノ入農事改良実行組合設立 大正十二年十一月一日諏訪ノ入農事組合ト改称ス
組合区域内戸数	総戸数八五戸 農業戸数 組合員 自作一四人 小作三七人 地主五人 組合員外 自作三人 小作二七人 地主一
区域外居住ノ耕地関係者	組合員 自作一 小作一 地主一 組合員外 自作一 小作一 地主二二人
一、事業 融和親善	春秋二回親睦会ヲ開催シ相互ニ意志ノ交換ヲナシ融和親善ヲ図リ模範田ヨリ收穫セシ農産物ヲ以テ試食等ヲナス
二、小作問題及奨励米ノ交付	本組合区域ハ小作問題ノ最モ激烈ナル所ナルモ組合員間ニ於テハ小作爭議ナク、不作其ノ他ニ依リ減額ノ必要アルガ如キ場合ハ組合ニ申出解決ヲ為ス 奨励米ハ県ノ奨励方針ニ從ヒ甲米三升、乙米二升、丙米一升ヲ支給ス
三、採種園	水稲 二反歩 陸稻 一 小麦 一反歩 大豆 一 馬鈴薯 一 合計 四反歩

小作爭議と小作調停（三）（川口）

<p>四、肥料ノ共同購入及配合</p>	<p>購入 石炭 数量 七〇〇俵 金額 三五〇円〇〇                  配合 呎数 稻七二六呎                  麦五二〇呎 金額 六、四〇八、五二                  桑二九二呎                  (原料ハ共同購入シ組合幹部立会ノ上委託配合セリ)</p>
<p>五、自給肥料</p>	<p>堆肥 一二〇、〇〇〇貫 緑肥 四、五〇〇貫(山野接近セル為自給肥料豊富ナリ)</p>
<p>六、勞力調節</p>	<p>発動機種類 インターナショナルセツト 台数 二台 役畜 馬 二二頭</p>
<p>七、講習講話</p>	<p>大正十四年十一月九日ヨリ十三日迄一回、同月十九日ヨリ二十四日迄一回、自家用醬油醸造伝習会ヲ開催ス</p>
<p>八、視察</p>	<p>大正十四年八月十五日栃木県御厨谷町島田へ米作視察ノ為メ組合長及幹部並組合員六名ノ視察員ヲ派遣ス</p>
<p>九、副業(家畜家禽加工其他)</p>	<p>鶏三二三羽、豚二二頭、自家用醬油醸造者一三人                  製繩年額五六〇円 製筵年額三九二円</p>
<p>一〇、品評会</p>	<p>大正十四年七月二十五日、大小麦蓄積品評会                  大正十四年十二月十三日、米 蓄積品評会 二回開催ス</p>
<p>一一、其ノ他</p>	<p>水稻模範田経営、反当収量三石、(普通作二石四斗組合長経営)農道整理</p>
<p>予算</p>	<p>金額二四五円内 組合費徴収 二〇〇円 現在支出額 一八五円</p>
<p>資金及貯金</p>	<p>資金 現在額 四五二、六四圓 積立法                  貯金 四八八、七四 売上代金及肥料一呎 目的                  ニツキ三錢ツ、徴収 ハ組合借入金ニ融通スル目的</p>
<p>他ノ組合トノ關係</p>	<p>産業組合ナシ 養蚕組合 組合ニ養蚕部ヲ置キ農事 養鶏組合ナシ 其ノ他ナシ                  実行係之レヲ兼ヌ</p>
<p>組合ノ事業分担</p>	<p>共同購入及販売係一人 農事実行係一人 貯金係一人</p>
<p>郡町村農会ノ組合援助</p>	<p>大正十四年度郡農会ヨリ拾円、村農会ヨリ五円交付セラレタリ</p>
<p>備考</p>	<p></p>

第八 村勢概況

他府県市町村民ノ所有土地及其比例（昭和二年末調査）

地目	反別坪数	比例	地目	反別坪数	比例
畑	一五三	七三二	池沼	九〇三	二、二四
田	五一五 <sup>反</sup>	二三七	原野	一一〇	、一〇
宅地	四、五〇三 <sup>坪</sup>	四五	山林	一〇七	一、一四 <sup>反</sup>

本村民ノ他府県市町村ニ所有スル土地（昭和二年末調査）

地目	反別坪数	地価	地目	反別坪数	地価
畑	一六六	八一七	合計 （宅地 其ノ他）	一三三三 <sup>反</sup>	七二〇
田	四三二 <sup>反</sup>	〇一六		五、六三三 <sup>坪</sup>	〇〇
宅地	五、六三三 <sup>坪</sup>	〇〇	其ノ他	一七二四 <sup>反</sup>	〇二七
		五、八五四 <sup>坪</sup>			二、二四二
		〇〇			〇〇
		一、九二七			二五、六五九
		〇〇			〇〇

備考

本村民ノ他町村ニ所有スル土地ト他町村民ニシテ本村ニ所有スル土地ト比較スルトキハ宅地坪数ニ於テ本村民ノ所有地千百三十坪多ク其他ノ反別ニ於テ本村民ノ所有土地百十町一反五畝歩多ク地価ニ於テハ千九百九十二坪多シ地価ニ比シ反別ノ多キハ本村民ニシテ他町村ノ山林ヲ所有スルモノ多キニ基因ス

小作争議と小作調停（三）（川口）



人口増減ノ傾向(自大正五年至全十四年 十ヶ年間)

年次	人口	備考
大正五年	八、四八四 <sub>人</sub>	
全六年	八、六六六	
全七年	八、六二四	
全八年	八、六〇八	
全九年	八、五八九	第一回国勢調査ニ依ル人口八七、九四六 <sub>人</sub> ナリ
年次	人口	備考
大正十年	八、四五三 <sub>人</sub>	
全十一年	八、六五一	
全十二年	八、六八三	
全十三年	八、五九二	
全十四年	七、九二七	第二回国勢調査ニ依ル人口

耕地増減ノ傾向(自大正六年至全十五年 十ヶ年間)

年次	田	畑	計
大正六年	四八七 <sub>町</sub>	三三九 <sub>町</sub>	八二七 <sub>町</sub>
全七年	四九一	三三九	八三〇
全八年	四九一	三三九	八三〇
全九年	四九一	三三九	八三〇
全十年	四九三	三三〇	八二三
全十一年	四九一	三三〇	八二一
全十二年	四九一	三三〇	八二一
全十三年	四九一	三三〇	八二一
全十四年	四九一	三三〇	八二一
全十五年	四九一	三三〇	八二一

即子田ニ於テハ大正六年ニ比シ大正十五年ハ約一分一厘ノ増加ヲ見細  
ニ於テ四分六厘ヲ増加ス

全十一年	四九四	八三一八	三三〇	二九二五	八二五	一三二三
全十二年	四九五	〇一〇五	三三二	一七一三	八二七	一八一八
全十三年	四九四	五六二二	三三五	八三〇七	八三〇	三九一九
全十四年	四九四	五三〇五	三四〇	一一〇一	八三四	六四〇六
全十五年	四九三	一三二七	三四四	九五〇二	八三八	〇八二九

耕地面積卜戸口

大正六年			大正十三年		
耕地面積	人口	耕地一町步当人口	耕地面積	人口	耕地一町步当人口
八一七、〇三一 <sup>町</sup> 步	八、六六六	一〇、六 <sup>人</sup>	八三〇、三九一 <sup>町</sup> 步	八、五九二 <sup>人</sup>	一〇、三 <sup>人</sup>

農家一戸当耕地

大正六年			昭和二年		
計	畑	田	耕地面積	農家戸数	農家一戸当耕地
1	三三九、〇八	四八七、 <small>町</small> 九五 <small>畝</small>	八、 <small>三〇六</small>	九八二	八、 <small>三〇六</small>
			三、 <small>三二五</small>	四、 <small>反</small> 九二 <small>一歩</small>	三、 <small>四二五</small>
			三、 <small>五〇、六五</small>	四、 <small>九二、八七</small>	四、 <small>反</small> 八二 <small>九畝</small>
			1	1	八、 <small>三三四</small>

自作、小作別耕地 (昭和二年末調査)

田			畑		
歩合	自作反別	小作反別	歩合	自作反別	小作反別
四九二、 <small>丁</small> 八七 <small>畝</small>	一六五、 <small>町</small> 八七 <small>畝</small>	三二七、 <small>町</small> 〇九 <small>畝</small>	三五〇、 <small>町</small> 六五 <small>畝</small>	一三三、 <small>町</small> 五五 <small>畝</small>	二二八、 <small>町</small> 二〇 <small>畝</small>
	三、 <small>三六</small>	六六四 <small>畝</small>		三、 <small>七八</small>	六、 <small>三二</small>

総戸数下農家戸数

大正七年			昭和二年		
総戸数	農家戸数	総戸数ニ対スル農家戸数割合	総戸数	農家戸数	総戸数ニ対スル農家戸数割合
一、 <small>二六六</small>	九八二	七、 <small>三四</small>	一、 <small>四〇〇</small>	二、 <small>〇〇六</small>	七、 <small>一九</small>

## 自作、小作、自作兼小作農家戸数

年度	農家戸数	自作農家	歩合	小作農家	歩合	自作兼小作農家	歩合
昭和二年	九九五	二九七	二、九八	一九三	一、九四	五〇五	五、〇八
全十五年	九九五	二九七	二、九八	一九三	一、九四	五〇五	五、〇八
全十四年	九九五	二九七	二、九八	一九三	一、九四	五〇五	五、〇八
全十三年	九八七	二九六	三、〇〇	一八七	一、八九	五〇四	五、一一
全十二年	九八二	二九四	二、九九	一八五	一、八八	五〇三	五、一二
全十一年	九八二	二九二	二、九七	一八五	一、八八	五〇五	五、一四
全十年	九八二	二九三	二、九八	一八四	一、八七	五〇五	五、一四
全九年	九八二	二九三	二、九八	一八四	一、八七	五〇五	五、一四
大正八年	九八二	二九三	二、九八	一八四	一、八七	五〇五	五、一四
大正七年	九八二	二九三	二、九八	一八四	一、八七	五〇五	五、一四
年度	農家戸数	自作農家	歩合	小作農家	歩合	自作兼小作農家	歩合

## 耕地所有状況

年度	五反歩未満	五反歩以上 一町歩未満	一町歩以上 二町歩未満	二町歩以上 三町歩未満	三町歩以上 五町歩未満	五町歩以上	合計
大正七年	四七七	二〇九	二〇一	五四	二七	一四	九八二
全八年	四七八	二〇八	二〇二	五三	二七	一四	九八二
全九年	四七八	二〇八	二〇二	五三	二七	一四	九八二
全十年	四七九	二〇七	二〇二	五三	二七	一四	九八二
年度 <th>五反歩未満</th> <th>五反歩以上 一町歩未満</th> <th>一町歩以上 二町歩未満</th> <th>二町歩以上 三町歩未満</th> <th>三町歩以上 五町歩未満</th> <th>五町歩以上</th> <th>合計</th>	五反歩未満	五反歩以上 一町歩未満	一町歩以上 二町歩未満	二町歩以上 三町歩未満	三町歩以上 五町歩未満	五町歩以上	合計

小作争議と小作調停 (三) (川口)

耕作段別状況

年 度	五反歩未満	五反歩以上 一町歩未満	一町歩以上 三町歩未満	三町歩以上 五町歩未満	五町歩以上 十町歩未満	十町歩以上	合 計
大正七年	四七九	一三九	一三六	二九	一〇	四	七九七
全 八 年	四八〇	一三八	一三五	三〇	一〇	四	七九七
全 九 年	四七九	一三九	一三五	三〇	一〇	四	七九七
全 十 年	四八〇	一三八	一三五	三〇	一〇	四	七九七
全 十 一 年	四八一	一三七	一三四	三一	一〇	四	七九七
全 十 二 年	四八〇	一三六	一三四	二九	一〇	四	七九三
全 十 三 年	四八二	一四〇	一三四	三〇	一〇	四	八〇〇
全 十 四 年	四八一	一五〇	一三二	三〇	一五	四	八〇二
全 十 五 年	四八五	一四〇	一三〇	三〇	一一	六	八〇二
昭和二年	四八六	一三九	一三〇	三〇	一一	六	八〇二

全 十 一 年	四八〇	二〇六	二〇二	五三	二七	一四	九八二
全 十 二 年	四八二	二〇四	二〇二	五四	二六	一四	九八二
全 十 三 年	四六五	二二四	二〇六	五〇	二七	一五	九八七
全 十 四 年	二五九	四五〇	二五六	三〇	一	一	九九五
全 十 五 年	二五六	四五三	二五六	三〇	一	一	九九五
昭和二年	二五一	四六九	二四六	二九	一	一	九九五

田畑ノ負担 (反当)

種別	年次	国 税		地租割県税附加税		地租割村税附加税		農会 費		水利 費			
		田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑		
平均	昭和三年	一、六九	、六二	一、九六	、七四	一、一一	、一一	四〇	、四二	一五	、二二	—	—
昭和二年	昭和元年	一、六九	、六二	二、二〇	、七九	一、一一	、一一	四〇	、四七	一七	、二二	—	—
大正十五年	全十四年	一、六九	、六二	二、〇〇	、七二	一、一一	、一一	四〇	、三七	一五	、二二	—	—
大正十三年	大正十三年	一、六九 <sup>銭</sup>	、六一 <sup>銭</sup>	二、〇〇 <sup>銭</sup>	、七二 <sup>銭</sup>	一、一一 <sup>銭</sup>	、四〇 <sup>銭</sup>	三七 <sup>銭</sup>	、三七 <sup>銭</sup>	一三 <sup>銭</sup>	、一九 <sup>銭</sup>	—	—

耕地ノ価格

年 度	田				畑			
	上	中	下	平均	上	中	下	平均
大正十三年	八五〇 <sup>円</sup>	六五〇 <sup>円</sup>	四〇〇 <sup>円</sup>	六三三 <sup>円</sup>	七〇〇 <sup>円</sup>	五五〇 <sup>円</sup>	三〇〇 <sup>円</sup>	五一六 <sup>円</sup>
大正十四年	八〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇	五〇〇
大正十五年	八五〇	七〇〇	五五〇	七〇〇	八〇〇	六五〇	五〇〇	六五〇

小作争議と小作調停 (三) (川口)

平均	昭和二年	全三年	平均
八二四	八三〇	八〇〇	八二四
六六〇	六八〇	六七〇	六六〇
四七四	五二〇	五〇〇	四七四
六五二	六七三	六五六	六五二
七四四	七七〇	七五〇	七四四
五八八	六四〇	六〇〇	五八八
四〇六	四八〇	四五〇	四〇六
五七九	六三〇	六〇〇	五七九

小作料ト收穫高(村農会定期報告ニ依ル)

年次	田					畑				
	上	中	下	平均	平均收穫高	上	中	下	平均	平均收穫高
大正十二年	一、五〇〇 <sub>合</sub>	一、三〇〇 <sub>合</sub>	一、〇〇〇 <sub>合</sub>	一、二六六 <sub>合</sub>	二、三〇〇 <sub>合</sub>	一七円	一四円	九円	一三、三三 <sub>銭</sub>	大麥 一、五六六 <sub>合</sub> 小麦 一、〇六六
全十三年	一、五〇〇	一、二五〇	九五〇	一、二三三	二、二〇〇	一八	一五	九	一四、〇〇	大麥 一、六八三 小麦 一、一六六
全十四年	一、四五〇	一、二五〇	一、〇〇〇	一、二三三	二、一六六	一九	一六	〇	一五、〇〇	大麥 一、八三三 小麦 一、二六六
大正十五年	一、四二〇	一、二〇〇	九〇〇	一、一七三	二、一五〇	一九	一六	〇	一五、〇〇	大麥 一、二五〇 小麦 一、二五〇
昭和二年	一、四二〇	一、二〇〇	九〇〇	一、一七三	二、一五三	一九	一五	〇	一四、六六	大麥 一、八〇〇 小麦 一、二五〇
平均	一、五八	一、二四〇	九五〇	一、二二六	二、二七〇	一八四〇	一五、二〇	九、六〇	一四、四〇	大麥 一、二七一 小麦 一、二〇〇

第九 小作調停及訴訟事件調査

一 小作調停申立趣旨別事件調

事件別	年次		大正十四年	大正十五年 昭和元年	昭和二年	昭和三年	計
	大正十四年	大正十五年					
小作契約継続要求	—	—	—	四	二	二	九
小作料納入並土地返還請求	—	—	—	五	—	—	五
小作契約不存在確認	—	—	—	—	—	—	—
小作継続及小作料減額要求	—	—	—	—	二	—	二
土地返還請求	—	—	—	—	—	—	—
貸借継続並賃借料減額要求	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	一〇	五	三	一九

二 小作調停事件年別調査

年次	申立件数	既済件数			未済件数	申立別件数			申立土地ノ面積	關係人員	
		獨停成立	不成立	取下		計	地主	小作人		合算申立	畑
大正十四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

小作争議と小作調停 (三) (川口)



三 法外ノ小作調停事件年別調査

年次	件数	争議人員			結果			關係耕地反別		備考
		地主	小作人	計	成立	不成立	消滅	田	畑	
大正十年	一	五三	三三七	二八〇	一	一	一	一五五町 〇〇〇〇歩	一	郡長、警察署長。 村長調停
全十一年	二	九二	三三五	四二七	一	一	一	一一六、二八〇〇	四三町 二〇〇〇歩	一件ハ村長、助役調 停一件ハ自然消滅
全十二年	一	一〇二	四三四	五三五	一	一	一	二二〇、〇〇〇〇	一	村長會長兼定親求テ承 認シタルニ依リ一時終息
全十三年	一	四〇	一四〇	一八〇	一	一	一	三五、〇〇〇〇	一	郡長調停
全十四年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
大正十五年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
昭和元年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

大正十五年	一〇	九	一	一〇	六	四	一	四、一一〇、〇〇	八二五、〇〇	二二	二二
昭和二年	六	四	二	六	一	五	一	七、三八五、七五	一	一一	三一
昭和三年	二	一	一	二	一	二	一	、三七二、〇〇	一	二	二
計	一九	一五	四	一九	七	二二	一	一八、〇四〇、七五	八二五、〇〇	三五	七九

小作争議と小作調停 (三) (川口)

四 小作争議ニ関スル民事訴訟事件調査 (昭和二年末調査)

年次	種別件数					原告別件数		訴訟関係人員数	
	小作料請求	土地返還請求	小作並土地返還請求	総件数	原告地主	原告小作人	地主	小作人	計
大正十五年	一	一	四	五	五	一	二二	一八	二九
昭和元年	一	一	一	一	一	一	一	一	二
昭和二年	一	一	一	一	一	一	一	一	二

計	昭和三年	昭和二年
七	二	一
二八九	(転貸人) 三	一
一、一四〇	(転貸人) 四	一
一、四二九	七	一
五	二	一
一	一	一
一	一	一
五二七、〇二九	、七三二九	一
四三、二〇〇	一	一
	小作官法外調停	